人と夢を紡ぐコミュニケーションマガジン

FD

Fine Dream
Fukuoka University 福岡大学学園通信

2009.Summer
NO.26

「前進」

逆境を乗り越えてこそ、味わえる感動がある。









創立75周年記念事業特集

ホームカミングデー［卒業生の集い］
草野 仁 氏 講演会

福岡大學
FUKUOKA UNIVERSITY

卒業生に息づく福岡大学 DNA

反対側の表紙から75th Anniversary PRESSが始まります! ▶



FD

FDは、「このキャンパスで在学生の皆さん一人一人が、美しく素敵な夢(Fine Dream)を育んでくれるように」との願いを込めるとともに、あわせてFUKUOKA DAIGAKUの頭文字を構成し、愛称として名付けられています。

CONTENTS

「前進」逆境を乗り越えてこそ、味わえる感動がある。

創立75周年記念事業特集 ―― 2

平成22年度入学試験要項決定 ―― 8

特別講座 知っていますか？「インスティテュート」 ―― 11

私のとっておきの一冊／絆エッセイ ―― 12

来てみて 話して こころの整理
ヒューマンディベロップメントセンター

平成21年度福岡大学特待生 ―― 13

情熱 STAND UP ! ―― 14
●書道部 ●馬術部 ●交響楽団 ●なぎなた同好会

先生の研究「インターネットテレビ電話を用いた心理臨床在宅支援システムの開発」 ―― 16

教育クローズアップ 公務員の仕事に関する法現場での比較学習 ―― 18

F の鼓動 ―― 20

就活日記～My チャレンジ ―― 21

卒業生に息づく 福岡大学 DNA ―― 22

ななくま通信 ―― 24

平成21年度学校法人福岡大学事業計画（概要） ―― 27

平成21年度学校法人福岡大学収支予算 ―― 28

地域の福大サポーター ―― 30

創立75周年記念事業募金 寄付者ご芳名一覧 ―― 32



裏表紙から75th Anniversary PRESSが始まります

75th Anniversary PRESS ―― 裏表紙

75年の歴史 ―― 37

福岡大学75thグラフィティ「あの時、この場所で。」 ―― 35

FD 2009.Summer NO.26 第26号（通巻196号）平成21年6月25日発行

編集・発行：福岡大学広報委員会 〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19-1

TEL:092-871-6631（代） E-mail／fupr@adm.fukuoka-u.ac.jp http://www.fukuoka-u.ac.jp

「FD」に対するご感想をお寄せください。

より良い広報誌づくりのために、本誌に対する読者の皆さまからのご意見、ご感想などをお待ちしています。また、情報提供などありましたらお知らせください。

春夏秋冬［編集部より］

枯れかけていた円形回廊の一本のバラ。いつの間にか息を吹き返し、今では深い緑の葉に朝露を潜え、生命の輝きを放っている。お昼休みともなると、鮮やかに色付いたバラの花々を前に、ベンチで友人とくつろぐ姿がよく見受けられる。

かわって、本号でご紹介した卒業生の下井倉さん。JR最高（標高1,345m67cm）の駅「長野県野辺山駅」から徒歩約30分のところにある国立天文台で、研究支援員として宇宙の神秘と向き合い、その素晴らしさを人々に伝えたいと鐘を輝かせていた。「福岡大学は、自由でキャンパスに活気がある」と母校のことを笑顔で語ってくれた下井倉さん。これまで何度も何度もくじけそうになったが、周りの人に支えられ、今でも果てしない夢を追い続けている。

75年という星霜のなかで輩出された卒業生220,000人余。先人たちが君たちの背中を温かく見守っている。

さぁ、夢に向かって一歩「前進」。

建学の精神

思想堅実・穏健中正
質実剛健・積極進取

【教育研究の理念】

「人材教育」と「人間教育」の共存

「学部教育」と「総合教育」の共存

「地域性」と「国際性」の共存

福岡大学の教育研究は、「建学の精神」に基づいた全人教育を理想とし、この三つの共存をはかることによって、真理と自由を追求し、自発的で創造性豊かな人間を育成し、社会の発展に寄与することを目的とする。

「前進」

進まなければ始まらないことがある。
目指さなければ見えない風景がある。
逆境を乗り越えてこそ、味わえる感動がある。
だから、前へ、前へ進もう。



FD表紙モデル

福岡大学ラグビー部

創部75周年を迎えるラグビー部。部員数68人を率いる鶴丸誠監督も本学卒業生です。

今年の目標は、九州学生リーグで6連覇を果たし、全国大学ラグビー選手権の初戦を突破すること。気持ちを強く、スピード感あふれるプレーを武器に、ラグビー部は目標に向けて日々前進しています。

75th Anniversary Events

創立75周年記念事業特集

数々の創立75周年記念事業。それは福岡大学の歴史と伝統を顧み、教育研究・医療への取り組みや学術・文化を広く発信し、新たな絆を深めるもの。そして、何より次のステージへ前進するための大いなる機会です。
皆さんも記念事業に積極的に参加し、前進へのエネルギーにしてください。



多くの卒業生が集い、会場はほぼ満員に

ホームカミングデー（卒業生の集い）

卒業生はもちろん市民も参加。絆はさらに深く、広く。

5月17日(日)、創立75周年記念事業として「第8回ホームカミングデー」を831教室で開催し、約600人が集いました。午前10時30分の開会前にはほぼ満員となる盛況ぶり。熱気の中、第一部の式典が始まりました。衛藤学長の挨拶と川畑有信会理事長の挨拶に続き、第1回「人をつくり、時代を拓く」連続講演会（プロスキーヤーでクラーク記念国際高等学校校長の三浦雄一郎氏による「わが人生の挑戦～夢高く、家族の絆とともに～」の講演）が行われました。75歳でエベレスト登頂を成し遂げた人生の軌跡に、会場は大きな感動の渦に包まれました。

続いて、本学学友会総務委員会委員長の沖光輝さん（法学部法律学科3年次生）の挨拶の後、本学交響楽団、同混声合唱団ハートフルボイスとプレミエールコールの演奏・合唱が披露され、クライマックスは参加者全員による校歌斉唱。世代を超えた絆を、喜びとともに確認できた瞬間でした。

第二部は「プラザ50」に会場を移し、立食形式での懇親会。会場の外にはテントがアーケード状に張られ、留学生会、大学関係者や卒業生有志による出店が並び、人だかりができるほどのにぎわいを見せました。参加者へのお土産として配られた新鮮な野菜や花束は今年も大好評。タオルなど創立75周年の記念の品も配布されました。

懇親会の後は、有信会寄贈のバラ園や薬学部棟などの学内自由見学が行われ、キャンパスのあちらこちらで卒業生の方々の和やかな交歓風景が見受けられました。「本学の姿をご覧いただき、学生時代に思いを巡らせながら楽しいひとときを過ごしていただきたい」という衛藤学長の願いどおりとなった初夏の一日でした。

同日に「工学部同窓会」設立総会も開催

ホームカミングデーと日を同じくして「工学部同窓会」設立総会が文系センター棟で開催されました。各学科の卒業生約70人が参加し、総会後は文系センター棟スカイラウンジで懇親会が行われ、旧交を温めました。これで本学の9学部すべてに「学部同窓会」が設立されたことになりました。


工学部同窓会会長
長谷川 透さん
1966年卒
工学部 第1回卒業生

「工学部は学科ごとの同窓会活動は盛んでしたが、これでようやく学部全体での活動が可能になりました。工学部創設50周年を目標に、さまざまなプランを実施していきたいと思います」。













1 衛藤卓也学長の挨拶で開会
2 三浦雄一郎氏の熱のこもった講演
3 講演に先立って放映されたエベレスト登頂記録
4 藤原道弘副学長による乾杯の発声で懇親会がスタート
5 English Garden（バラ園）や薬学部棟などの学内自由見学
6 懇親会会場の外にはテントがアーケード状に張られ、留学生会、大学関係者や卒業生有志などが多数出店

参加した卒業生の声


天本 宏さん
1963年
商学部卒

「毎年参加するのが楽しみなんですよ。今日は学帽をかぶってきました。この学帽を見ると皆さんが声を掛けてくださる。同窓生というのは良いものですね」。


内村 勇詞さん 1994年商学部卒

「今年初めて参加しました。やっぱり母校って懐かしいですね。子どもたちも福大に入ってくれると嬉しいですね」。

経済学部設立50周年記念

ベンチャー起業論特別講義 映画「うん、何？」プレミアム上映開催

4月24日(金)、経済学部ベンチャー起業論の特別講義として、映画「うん、何？」の上映と、錦織良成監督ならびに女優の宮崎美子さんのディスカッション講義が行われました。この作品の上映はまだ、東京など一部の地域でしか実現していません。ベンチャー起業論を学ぶ学生グループは、この映画を見て感動し、福岡での劇場公開を目指し、ボランティアで映画館などを回る営業活動を続けています。錦織監督は4年前から、映画界のベンチャー起業家として本学で講義を行っており、その縁で今回の特別講義が実現しました。錦織監督、宮崎さん、非常勤講師の大野さんによるトークショー、さらにベンチャー起業論を受けていた卒業生の壇健太郎さんを交えたディスカッション講義は、ビジネスとしての映画論から人生論まで多岐にわたり、出席した学生たちは熱心に耳を傾けていました。


貴重な経験談やアドバイスを話していただいた、錦織良成監督と女優の宮崎美子さん。

特別講義に参加して


宮永 智代さん
人文学部
東アジア地域言語学科
4年次生

「錦織監督や宮崎さんの経験談や思いを聴いて、とても良い刺激になりました。お二人に頂いた元気やアドバイスを糧に、就活を頑張りたいと思います」。

福岡大学建築展2009「建築で語る未来」

4月24日(金)から26日(日)にかけて、アクロス福岡で「福岡大学建築展2009」(主催／工学部建築学科)を開催しました。期間中は1階アトリウムで卒業計画優秀作品を展示。その発想の豊かさと斬新さ、技術的なレベルの高さに、アトリウムを通る一般の方からも賞賛の声が上がっていました。また、25日(土)には記念シンポジウム「クリエイティブ産業時代の夢と建築」を7階大会議室で開催。著名な建築家の山本理顕氏による「未来への想像力」と題した講演に続き、本学工学部の黒瀬重幸教授をコーディネーターに、多彩なパネラーが参加して活気あふれるディスカッションが行われました。また、その後の懇親会では和やかな雰囲気の中にも真剣な建築論が交わされていました。







1 一般の方も目を見張った卒業計画優秀作品
2 山本理顕氏による「未来への想像力」と題した講演
3 活発な意見が交わされたパネルディスカッション

特別講演・シンポジウム「スポーツと健康」

5月20日(水)、831教室でスポーツ科学部主催による特別講演とシンポジウムを開催しました。これは創立75周年という記念すべき年に、学部全体で「スポーツと健康」について、いま一度考えてみよう、という趣旨のもとに開催したもの。当日はスポーツ科学部の学生を中心に、広い教室が超満員になりました。

瓦林達比古副学長の挨拶の後、シドニーオリンピック水泳日本代表の萩原智子さんによる「水泳と私」と題した講演。続いてバルセロナオリンピック日本代表の松永由水さん、アトランタパラリンピック金メダリストの柳川春己さん、本学スポーツ科学部の藤井雅人准教授によるシンポジウムが行われました。トップアスリートとしての経験に基づいた一つ一つの言葉は、学生たちに新鮮な感激と爽快な刺激を与えました。







1 ユーモアを交えた萩原智子さんの講演
2 広い会場が超満員に
3 本学スポーツ科学部築山泰典講師のコーディネートによるシンポジウム

第2回「人をつくり、時代を拓く」連続講演会

草野 仁氏「いつもチャレンジ精神で」

5月25日(月)、福大生ステップアッププログラムの一環として、第7回「今を生きる教養講演会」を831教室で開催しました。今回は、創立75周年記念事業の一つでもあり、講演者はTVキャスターとして活躍されている草野仁氏。草野氏のお兄さまが、かつて本学理学部応用数学科の教授であり、さらにお父さまも本学で数学を教えておられたという縁で今回の講演が実現しました。

衛藤学長の挨拶の後、草野氏が演壇に。NHK入局後アナウンサーとして活躍されていた頃のエピソードや、TV番組で共演している黒柳徹子さん、板東英二さんの話など、明瞭な語り口で、予定時間を超える熱のこもった講演となりました。中でも、「人間は複合的な才能を持っている。一度失敗してもあきらめずに違う分野にチャレンジしてみよう」「話すという行為に愛情を持ち、話し上手、伝え上手になろう」というメッセージが印象的でした。本学の学生へ向けての「福岡大学の学生としてのプライドを持ち、自分流に全力投球してください」という激励の言葉に、会場内は盛大な拍手がわき起こり、講演の幕を閉じました。







1 熱心に耳を傾ける学生の皆さん
2 マイクを片手に身ぶり手ぶりで講演する草野氏
3 講演終了後に開催されたサイン会

「第5回(平成21年度)全国高校生川柳コンクール」募集開始

「テーマ」友情、勉強、部活動、家族、恋愛、夢、希望、社会へのメッセージなど、自由。

■作品内容
□応募作品は未発表でオリジナルのものに限ります。
□他との重複投稿や既に発表されているものに著しく類似したものは除きます。
□発表済みの作品との暗合(偶然に一致すること)があった場合、入選を取り消すことがあります。

〈条件〉
※日本国内の高等学校に在学する者。
※応募は1人3作品までとし、それを超える応募は受け付けません。
なお、入選は1人1作品までとします。
※応募作品は、入選、落選に拘わらず返却しません。
※応募に要する経費は、応募者の負担とします。
※入選作品にかかる著作権・使用権など、すべての権利は福岡大学に帰属します。

■応募期間　平成21年6月1日(月)～9月20日(日)

■応募方法
応募用紙を出力し、必要事項(学校名・学年・氏名「フリガナ」・年齢・性別・自宅郵便番号・自宅住所・電話番号)を明記の上、左記宛先まで郵送にてご応募ください。
※応募用紙は、本学公式ホームページからダウンロードできますのでご利用ください。
※高校等団体でのご応募の場合は、別紙に高校等団体の郵便番号・住所・電話番号と代表者名を明記し、同封してください。その際、応募用紙に個人の郵便番号・住所・電話番号を記入する必要はありません。

■応募先
〒814-0180
福岡市城南区七隈八丁目19-1
福岡大学広報課
「全国高校生川柳コンクール」宛

■入選発表
平成21年12月末日までに発表(予定)
※大賞・優秀賞・創立75周年特別賞の受賞者へは直接電話で、その他の入選者には発送をもって通知します。
※入選作品は、本学公式ホームページに掲載します。

■表彰

大賞(福岡大学長賞)	〈1作品〉図書カード 5万円分	優秀賞	〈2作品〉図書カード3万円分
創立75周年特別賞	〈2作品〉記念品 2万5千円相当	入賞	〈50作品〉図書カード 3千円分

※全入選者には、副賞の他に賞状を贈呈します。また、作品集を応募者全員に配付します。

お問い合わせ／福岡大学広報課
〒814-0180福岡市城南区七隈八丁目19-1 TEL:092-871-6631(代)
http://www.fukuoka-u.ac.jp/ ※詳細については、本学公式ホームページ「全国高校生川柳コンクール」をご覧ください。
主催:福岡大学　後援:文化庁／全日本川柳協会／西日本新聞社

その自由な発想と情熱を、しっかりと支えて。

創立75周年記念事業「2009年度学生チャレンジプロジェクト」決定

学生の皆さんが自主的で自由な発想から企画した独自のプロジェクトを、本学が資金面等で支援する「学生チャレンジプロジェクト」。第5回目となる今回は9件の応募がありました。各プロジェクトは、キャンパスライフ、地域・環境問題に着目した個性的なものばかり。5月18日（月）にヒアリングが行われ、学生チャレンジプロジェクト実行委員会の選考を経て、次の3件が採択されました。



知って伝えて繋げよう —私たちの博多—

【代表】法学部経営法学科2年次生　鴫海　由莉さん（他2人）

福大生にとって身近な存在である“博多”を博多織や博多人形を通して、より多くの学生に発信し、知ってもらうことを目的に取り組みます。また、講演会やディスカッションを行い、知ることから考察につなげ、最後に報告書を作成し、学生を中心に地域住民の方にも伝えたいと思います。



福岡大学に壁画を描こう

【代表】工学部機械工学科3年次生　森永　隆志さん（他16人）

美術部を中心にメンバーを構成し、本プロジェクトに臨みます。今年、美術部は創部50周年を迎え、部として本学に“絵”を通して貢献ができないかと考えました。

そこで学内に壁画を描くことに挑戦し、新たな歴史を刻もうと思います。



あなたのそばに私がいる —独りぼっち高齢者ゼロ作戦—

【代表】医学部看護学科3年次生　米満　希和さん（他4人）

高齢者の孤独死が相次いでいる現代社会。看護学科の学生を中心に、将来医療分野に従事する者として、このような問題を解決できないかとプロジェクトを立ち上げました。城南区にある七隈校区を中心に、一人暮らしの高齢者宅を訪問し、心の交流を図っていきたいと思います。

2008年度 学生チャレンジプロジェクト
「つなごう命のリレー—あなたにもできる応急手当—」パンフレットが完成

看護学科の学生が立ち上げた学生チャレンジプロジェクト「つなごう命のリレー—あなたにもできる応急手当—」パンフレットが6月に完成しました。このパンフレットは、救急車が多数の出動要請に対応しきれず、本当に必要な人のもとへ駆け付けられないこともあるという現状に着目し、福大生や地域の方々に対して救急車の適正利用の呼びかけと、起こりやすいけがや病気の簡単な応急手当が理解できるようにという意図から制作されたもの。“信頼性が第一”と考え、メンバーは消防局の講習を受けて「応急手当普及員認定証」も取得。十分な知識を得た上で症状別に担当を決め、看護学科の後輩たちにもアンケートの協力を得ました。また用語の一つ一つにも注意を払い、確認と検討を重ねました。さらに見やすさ、分かりやすさにも配慮して、写真やイラスト（本学卒業生＝当時は在学生）も多く掲載しています。

看護学科第1期生（学科開設初年度入学生）が力を合わせて完成にこぎつけたオリジナルのパンフレット。制作しながら仲間たちで創っていたのは、看護学科の新しき良き伝統かもしれません。





二十四節気

- 7/7頃　小暑（しょうしょ）　梅雨明けが近づき、晴れ間に夏の強い日差しと暑さが感じられ、せみも鳴き始めて。この日から暑中見舞いも出してよい。
- 7/23頃　大暑（たいしょ）　一年で最も暑い頃。空には入道雲がもくもくと。土用の時期で、うなぎを食べる習慣はおなじみ。
- 8/7頃　立秋（りっしゅう）　暦の上ではこの日から立冬の前日までが秋。暑中見舞いはこの前日までで、この日以降は残暑見舞い。
- 8/23頃　処暑（しょしょ）　暑さが止むと言う意味。朝夕は心地よい涼風が吹き、秋の訪れを教えてくれる。
- 9/8頃　白露（はくろ）　野の草花に露が宿る頃。スキの穂が顔を出し、秋の趣がひとしおに。
- 9/23頃　秋分（しゅうぶん）　冷気を感じる日が増える。昼と夜の長さがほぼ同じになる秋分の日を境に夜が長くなっていく。
- 10/8頃　寒露（かんろ）　冷たい露の結ぶ頃。秋もいよいよ本番。山の木々の葉は紅葉の準備に入る。作物の収穫も盛んに。

※二十四節気は、太陰暦を使用していた時代に、季節を表すための工夫として考え出されたもので、1年を24等分にし、その区切りに名前を付けたものです。現在でも季節の節目節目に、これを示す言葉として使われています（日付は1日程度前後することがあります）。

EVENT SCHEDULE
イベントスケジュール

6月
- 交換留学生募集（豪州・中国・中国（台湾含む）・韓国）（1日～11日）
- 父母懇談会（7日熊本、13日広島、14日松山、20・21日福岡、28日佐賀）※医学部医学科は別日程
- 普通救命講習会（13日・20日）
- 学術文化祭（22日～27日（音楽のタベ27日）
- 九州地区大学体育大会夏季大会（6月下旬～7月中旬）
- 蔚山大学校（韓国）研修生受け入れ（29日～7月16日）
- 特待生表彰（29日）

7月
- 父母懇談会（4日那覇、5日東京、12日宮崎）
- 第二部夏季球技大会（12日）
- 休日授業日（20日 海の日）
- 前期授業終了（22日）
- 前期定期試験（23日～8月2日）

8月
- 海の日（7月20日）の振替休日（3日）
  ※夏季集中講義を除く
- 夏季集中講義開始（3日）
- 夏季休業開始（4日）
- 交換留学生派遣（英国・仏国）
- 海外研修生派遣（韓国）（5日～22日）
- オープンキャンパス（8日）
- 第二部クリーンキャンプ（8日・9日）
- 海外夏期英語研修生派遣（英国）（9日～30日）
- 夏期セミナー（20日～9月3日）
- 海外研修生募集（米国・豪州）（21日～9月17日）

9月
- 夏季休業終了（13日）　後期授業開始（14日）
- 海外春期中国語研修生募集（中国）（14日～24日）
- 交換留学生受け入れ（中旬）／前期卒業式（26日）

10月
- 第二部秋季球技大会（4日）
- 学園祭（七隈祭、雁祭、医学祭）（31日～11月2日）
- 地域パレード（25日）　前夜祭ライブ（29日）
- 勤労感謝の日（11月23日）の振替休日（30日）
- 交換留学生募集（英国・米国・仏国・ブラジル）（31日～11月12日）

創立75周年記念事業INFORMATION

福岡大学創立75周年記念事業　検索

「人をつくり、時代を拓く」連続講演会　入場無料

校友と地域社会に対して学術・文化を伝え、併せて本学との新たな絆を深める機会とするため、日本および世界で活躍されている著名人をお招きし、本学のスローガンである「人をつくり、時代を拓く。」を統一テーマとした講演会を開催しています。



第4回　大槻 義彦氏（物理学者）
テーマ：「人にやさしい科学文明」
8月8日（土）　午後零時30分～午後1時30分
831教室　（於 オープンキャンパス）

ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム「21世紀の創造」　入場無料

本フォーラムは、世界最高の学術賞であるノーベル賞の受賞者を招き、講演、パネルディスカッション、質疑応答などを通じて21世紀に我々が直面する諸課題について共に考えることを目的に開催します。

10月3日（土）
午後1時～午後5時（予定）　831教室
科学をテーマとしたフォーラムを開催します。
利根川 進氏（1987年ノーベル生理学・医学賞受賞）
益川 敏英氏（2008年ノーベル物理学賞受賞）


利根川 進氏


益川 敏英氏
（写真提供：読売新聞社）

協定大学長によるシンポジウム

本学は世界12カ国の30大学と交流協定を結び、教育や学術交流を通じて、多様な価値観や文化を理解する広い視野を持ち、国際社会で大いに活躍できる人材の育成を図っています。創立75周年記念式典に先立ち、20大学（平成21年5月現在）の代表者が一堂に集い、国際的視点から大学が果たす役割などについて共に議論します。

10月23日（金）　午後2時～午後5時　アクロス福岡国際会議場
テーマ：「大学のグローバル連携と使命」

福岡大学創立75周年 記念式典・祝賀会

幾多の困難を克服し、歴史と伝統を築き上げてこられた諸先輩方や、支えていただいた関係者の方々に感謝の意を表し、本学のさらなる発展と飛躍への思いを新たにする契機とします。会場では75年の歴史を振り返る写真展も開催します。本学が未来へ向かって新たなる一歩を踏み出す記念すべき一日です。

10月24日（土）
記念式典：午前11時～正午、祝賀会：午後零時15分～午後1時30分
ホテルニューオータニ博多

創立75周年記念事業イベントカレンダー

7月
- ■1日～ ラジオ番組制作による地域情報の発信
- ■4日 福岡大学ふれあい環境学習「打ち水大作戦」
- 父母懇談会（那覇会場）
- ■5日 父母懇談会（東京会場）
- ■12日 父母懇談会（宮崎会場）
- ■18日 夏まつり城南

8月
- ■8日 大槻 義彦氏　講演

9月
- ■5・12・26日／10月3・17・24・31日 特別公開講座「サクセスフル・エイジング2009『21世紀を豊かに生きる！』」
- ■21日 商学部記念講演・シンポジウム
- ■23日 ふれあいスポーツフェスタ2009
- 自然体験フェスタin福大

10月
- ■1日～7日 図書館特別展
- ■3日 ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム
- ■4日 福大ニコニコ健康づくり講座 2009～体力アップでメタボ解消～
- ■23日 協定大学長によるシンポジウム
- ■24日 創立75周年記念式典・祝賀会
- ■31日～11月2日 学園祭

※年史「第1巻「福岡大学75年の歩み 写真・年表編」」（10月刊行予定）

平成22年度入学試験要項決定

NEWS

平成22年度入学試験要項が5月下旬に発表されました。
大学入試を取り巻く環境と、社会のニーズに応じて変化する入試制度について、
居城入学センター長に説明してもらいました。



入学センター長
居城 克治教授

大学に求められているもの

大学入試を取り巻く環境は、少子化が進むにつれて変化し、入学者を〝大学が選ぶ〟という状況から、受験生や入学者が〝大学を選ぶ〟という状況になってきました。入学センターでは、入学したい大学として福岡大学を選んでもらえるように、質の高い教育だけではなく、充実した奨学金制度や卒業生の就職状況といった学問以外の部分も重要な情報として提供しています。志望校を決定する際、「学びたい学問分野があるか」はもちろんですが、「学生生活におけるサポート体制が整っているか」がますます重視されてきていると考えているからです。

〝大学が選ばれる〟ことにより、「都市部（関東・関西）にある大学」と「地方の大学」、「人気・知名度の高いブランド大学」と「ノーブランド大学」といった、大学の二極化が急速に進んでいます。都市部にある大学の方がキャンパス周辺もにぎやかでしょうし、人気・知名度の高い大学に行きたいと思う人が多いのは自然なことだと思います。こうした中で、本学が九州一の大都市である福岡に立地していることは魅力の一つですし、また西日本有数の総合大学であることも大きなアピールポイントです。

２００８年12月に日経ＢＰコンサルティングが行った「大学ブランド・イメージ調査（九州・沖縄・山口編）」で、本学は前年に引き続いて、私立大学で第1位、総合で第3位に、項目別では「キャンパスに活気があるイメージの大学」としても第1位にランクされました。これは、本学が創立からの75年間に培ってきたものを地元の方々から高く評価していただいている結果だと思います。大学とは、社会に出る前の最終教育機関であり、社会人として必要な知識や価値観、コミュニケーション能力を養う場です。その役割を果たすため、本学は総合大学の特長を生かして、専門知識の修得はもちろん、学問分野を超えた幅広い教養を身に付け、多くの人と接する機会を持てるような教育カリキュラムやサポート体制を整えています。

さて、本学の魅力をご紹介する場として、毎年オープンキャンパスを開催しています。高校生や保護者、教員の方々、さらに地域の皆さんにもぜひお越しいただきたいですね。施設など充実したキャンパス環境のほか、講義の様子や在学生との交流を通して、大学の本質を知ってもらえればと思っています。そして、〝福大ファン〟が増えることを期待しています。

センター試験を利用した入試制度を拡充

受験生の利便性を向上させると同時に、多様な個性を持った人材が集まることを期待し、平成22年度入試では大学入試センター試験を利用した入試制度において、実施学部・学科をさらに拡充します。

平成21年度入試より行っている「センタープラス型入試」では、商学部、工学部（電気工・電子情報工・化学システム工・社会デザイン工・建築学科）、医学部（看護学科）で新たに実施します。「大学入試センター試験利用入試」では、人文学部（日本語日本文・教育・臨床心理学科）、工学部（電子情報工・建築学科）が新たに導入し、実施学部・学科は9学部30学科となります。

その他、主な変更点は次のとおりです。

主な変更点

【推薦入試】
○工学部化学システム工学科で「B方式推薦入試」を、医学部医学科で「地域枠推薦入試」を新たに実施します。

【一般入試（前期日程）】
○医学部医学科は二段階選抜とします。
○試験会場に山口会場を追加します。

【一般入試（後期日程）】
○人文学部教育・臨床心理学科で新たに実施します。

※詳細やその他の変更点は「大学案内」・ホームページで確認してください。

入学センターホームページ　http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu815/home1/index.html

オープンキャンパス2009

Open Campus 2009

日　時　8月8日（土）　10:00～16:00
場　所　七隈キャンパス
実施学部　全学部
内　容　学部学科紹介、模擬講義、公開実験、教員・在学生による個別相談コーナー、過去入試問題集無料配付、一般入試要項・願書進呈（後日郵送）など

こんな企画もお楽しみに！
外部講師による入試の傾向と対策　遊覧バス運行　運動部公開練習



募集人員表

学部・学科		入学定員	内訳 推薦入試	AO入試	大学入試センター試験利用入試	センタープラス型入試	一般入試 前期	一般入試 後期
人文	文化	90	27	10	5		48	
	歴史	60	18		5		37	
	日本語日本文	60	17		3		35	5
	教育・臨床心理	100	30		5		65	若干人
	英語	80	24		8		48	若干人
	ドイツ語	45	14		5		26	若干人
	フランス語	45	14		5		26	若干人
	東アジア地域言語	60	18		3		39	若干人
法	法律	400	120	10人程度	30	25	195	20
	経営法	200	60	5人程度	10	10	105	10
経済	経済	420	130		15	15	220	40
	産業経済	180	55		5	5	85	30
商	商	210	60	5	5	10	120	10
	経営	200	55	5	5	10	115	10
	貿易	160	45	若干人	5	10	90	10
商学部第二部		200	45		5		110	40
理	＊応用数	60	17		7		36	若干人
	＊物理科	60	16		7		37	若干人
	＊化	60	16		7		37	若干人
	地球圏科	60	18		5		37	若干人
工	機械工	100	30		5		65	
	電気工	100	30		5	10	50	5人程度
	電子情報工	140	42		5	10	78	5人程度
	化学システム工	100	30		5	10	50	5人程度
	社会デザイン工	100	30		5	10	50	5人程度
	建築	100	30		5	10	50	5人程度
医	医	110	35人程度				75	
	看護	100	20人程度		5	5	70	
薬	薬	230	60		15	15	130	10人程度
スポーツ科	スポーツ科	210	93	30	5		＊75	7人程度
	健康運動科	70	32	5	3		27	3人程度

※スポーツ科学部スポーツ科学科の一般入試（前期）は、【実技型】60人、【小論文型】15人で計75人を募集します。

募集人員について
1. 推薦入試にはＡ方式・Ｂ方式・地域枠のほか、指定校推薦入試、スポーツ特別推薦入試、附属推薦入試の募集人員を含みます。
2. 一般入試（前期）には帰国子女入試、社会人入試、スポーツ科学部特別募集、学部留学生入試の募集人員を含みます。
3. 募集人員は、志願状況等によって多少変動することがあります。

＊理学部応用数学科の入学定員のうち、15人程度は社会数理・情報インスティテュートとして募集します。また、物理科学科および化学科の入学定員のうち、それぞれ10人程度はナノサイエンス・インスティテュートとして募集します。

インスティテュート		募集人員	推薦入試	大学入試センター試験利用入試	一般入試 前期	一般入試 後期
社会数理・情報インスティテュート		15	4	2	9	若干人
ナノサイエンス・インスティテュート	物理科学科	10	2	2	6	若干人
	化学科	10	2	2	6	若干人



NEWS 平成22年度入学試験要項決定

入試日程

入試制度		実施学部(学科等)		出願期間(必着)	試験日等	試験地	合格発表日	入学手続締切日
AO入試		人文(文化)	模擬演習・レポート作成	7月31日(金)～8月19日(水)	8月27日(木)	本学(福岡)	—	入学申込金締切 12月21日(月) 入学手続締切 3月15日(月)
				9月 1日(火)～9月10日(木)	一次選考 9月25日(金)	—	一次合格 9月29日(火)	
					二次選考10月10日(土)	本学(福岡)	二次合格10月23日(金)	
		法	論文作成・グループディスカッション	7月31日(金)～8月19日(水)	8月27日(木)	本学(福岡)	—	
				9月 1日(火)～9月10日(木)	一次選考 9月25日(金)	—	一次合格 9月29日(火)	
					二次選考10月10日(土)	本学(福岡)	二次合格10月23日(金)	
		商		9月 1日(火)～9月10日(木)	一次選考 9月25日(金)	—	一次合格 9月29日(火)	
					二次選考10月10日(土)	本学(福岡)	二次合格10月23日(金)	
		スポーツ科	公開練習会	7月17日(金)～7月31日(金)[前半] 8月19日(水)[後半]	8月 7日(金)・25日(火) 8月31日(月)	本学(福岡)	—	
			特別講座		8月 6日(木)・24日(月)			
				9月 1日(火)～9月10日(木)	一次選考 9月25日(金)	—	一次合格 9月29日(火)	
					二次選考10月 6日(火)	本学(福岡)	二次合格10月23日(金)	
公募推薦	A方式	人文、法、経済、商、商二、理、工、医、薬		11月 2日(月)～11月11日(水)	11月29日(日)	本学(福岡)	12月 8日(火)	入学申込金締切 12月21日(月) 入学手続締切 3月15日(月)
		スポーツ科			11月24日(火)・25日(水)			
	B方式	経済、工(化学システム工、社会デザイン工)			11月28日(土)			
	地域枠	医(医)			11月29日(日)			
	スポーツ特別推薦	人文、法、経済、商、商二、理、工、スポーツ科		10月 1日(木)～10月 5日(月)	一次選考10月21日(水)	—	一次合格10月23日(金)	入学申込金締切 1月14日(木) 入学手続締切 3月15日(月)
					二次選考11月 4日(水)	本学(福岡)	二次合格11月 7日(土)	
指定校推薦		人文(文化、歴史、ドイツ語、フランス語、東アジア地域言語)、法、経済、商、商二、理、工(機械工、社会デザイン工)、薬		11月 2日(月)～11月 9日(月)	11月21日(土)	本学(福岡)	12月 8日(火)	入学申込金締切 12月21日(月) 入学手続締切 3月15日(月)
		スポーツ科(健康運動科)			11月25日(水)			
大学入試センター試験利用入試		人文、法、経済、商、商二、理、工、医(看護)、薬、スポーツ科		1月 5日(火)～1月15日(金)	大学入試センター試験 1月16日(土)・17日(日)	—	2月20日(土)	入学申込金締切 3月 2日(火) 入学手続締切 3月24日(水)
一般入試	前期日程	「センタープラス型入試」を法学部、経済学部、商学部、工学部(電気工、電子情報工、化学システム工、社会デザイン工、建築)、医学部(看護)、薬学部で実施します。						
		人文(文化、日本語日本文)、法(法律)、商二、理(応用数、地球圏科、ナノサイエンス・インスティテュート)		1月 5日(火)～1月19日(火)	2月 4日(木)	本学(福岡) 広島 山口 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島	2月20日(土)	入学申込金締切 3月 2日(火) 入学手続締切 3月24日(水)
		人文(教育・臨床心理、ドイツ語)、法(経営法)、商(貿易)、理(物理科、化、社会数理・情報インスティテュート)			2月 5日(金)			
		人文(英語、東アジア地域言語)、商(商)、工(機械工、電子情報工、社会デザイン工)、薬			2月 6日(土)			
		人文(歴史、フランス語)、経済(産業経済)、商(経営)、工(電気工、化学システム工、建築)、スポーツ科(健康運動科)			2月 7日(日)			
		経済(経済)、医(看護)、スポーツ科(スポーツ科[小論文型])			2月 8日(月)			
		スポーツ科(スポーツ科[実技型])			2月 8日(月)・9日(火)	本学(福岡)		
					2月11日(木)・12日(金)			
		人文、法、経済、商、商二、理、工、医(看護)、薬、スポーツ科(スポーツ科[小論文型]、健康運動科)			2月11日(木)	本学(福岡) 長崎 東京 熊本 大阪 大分 高松 宮崎 広島 鹿児島 山口 那覇		
		医(医)			一次選考 2月11日(木)	本学(福岡)・東京・大阪	一次合格 2月20日(土)	入学申込金締切 3月 5日(金) 入学手続締切 3月24日(水)
					二次選考 2月24日(水)	本学(福岡)	二次合格 2月27日(土)	
	後期日程	人文(日本語日本文、教育・臨床心理、英語、ドイツ語、フランス語、東アジア地域言語)、法、経済、商、商二、理、工(電気工、電子情報工、化学システム工、社会デザイン工、建築)、薬、スポーツ科		2月17日(水)～2月26日(金)	3月 5日(金)	本学(福岡) 広 島 鹿児島	3月13日(土)	3月24日(水)
	スポーツ科学部特別募集	スポーツ科			3月 4日(木)	本学(福岡)		
帰国子女入試		人文(※1)、法、経済、商、商二、理、工、薬		11月 2日(月)～11月11日(水)	11月28日(土)	本学(福岡)	12月 8日(火)	入学申込金締切 12月21日(月) 入学手続締切 3月24日(水)
		スポーツ科			11月25日(水)			
社会人入試	前期日程	人文(※1)、経済、商、商二、工(機械工、社会デザイン工)		11月 2日(月)～11月11日(水)	11月28日(土)	本学(福岡)	12月 8日(火)	入学申込金締切 12月21日(月) 入学手続締切 3月24日(水)
	後期日程	法、商、商二、薬、スポーツ科		2月17日(水)～2月24日(水)	3月 4日(木)		3月13日(土)	3月24日(水)
編・転・学士入試		人文、法、経済、商、商二、理、工、薬(※2)、スポーツ科		2月17日(水)～2月24日(水)	3月 4日(木)	本学(福岡)	3月13日(土)	3月24日(水)
学部留学生入試		人文、法、経済、商、理、工、医(医)、薬、スポーツ科		12月10日(木)～12月22日(火)	2月 2日(火)	本学(福岡)	2月20日(土)	入学申込金締切 3月 2日(火) 入学手続締切 3月24日(水)

(※1)帰国子女入試、社会人入試―人文学部は教育・臨床心理学科の募集は行いません。
(※2)欠員が生じた場合、その人数を学士入試で募集します。

特別講座

皆さんに広く知ってもらいたい、
福岡大学で行われている教育やシステム。
さあ、この講座で楽しく学ぼう！

知っていますか？

「インスティテュート」

日本でも数少ない、福岡大学理学部の「インスティテュート」。
どんな特色があるの？ どんなことを学ぶの？ 将来の進路は？
担当の3人の先生方に、分かりやすく説明してもらいました。

社会数理・情報インスティテュート

文系・理系の枠を超えた実用数学で現代社会のニーズに応える人材を

今、高校では大学進学のための文系・理系選択の時期が早くなっています。文系クラスでは、どうしても数学を学ぶ機会が少なくなります。しかし、現代社会では数学的な能力を持つ人材が求められているのです。さまざまなシステムを理解し、有効に活用する、例えば、金融の自由化に伴い、資産管理や運用等の金融システムを活用できる人材はどの分野でも必要とされています。また、地域社会への分権化の進行とともに、行政のシステムや社会の意思集約の仕組みを理解する人材も求められています。このような社会システムは、数学を基礎とする数理モデルを用いて表すことでその原理をより明確にできます。また、コンピューターを用いたシステム構築・開発の理論やネットワークを活用する技術は、この分野で能力を発揮していくために欠かせない要素です。「社会数理・情報インスティテュート」は、少人数教育で、実用的な数学を言葉として用い、どのような分野でも適用できる分析力を効率的に学びます。私たちは文系志望の受験生にも、数学を技術として社会で活躍するという新しい可能性を示していきます。



理学部応用数学科
杉万 郁夫准教授

ナノサイエンス・インスティテュート

物理と化学の両方を学び21世紀のサイエンスをリードする

ナノとは、「10億分の1」という極小の単位です。今、この原子数個分のナノサイズ領域の科学は最もホットな科学の一つになっています。情報技術(IT)の鍵を握る集積回路(IC)の配線や素子、生命科学やバイオテクノロジーの分野で研究されている物質もナノサイズの領域にあります。これらのナノ領域の法則や制御の方法を明らかにする科学がナノサイエンス。「アメリカの連邦議会図書館にある全ての図書の情報を詰め込むことも可能になる。糖サイズのメモリを作ることができる」と言ったのはクリントン元大統領ですが、ナノ領域での原子配列の制御が可能になれば実現できます。また、軽くて強いワイヤを開発すれば、地球と宇宙ステーションをつなぐエレベーターも夢ではありません。「ナノサイエンス・インスティテュート」は、物理科学科と化学科が専門領域を超え、一緒になって創設しました。物理学と化学の両方の知識を身に付けるには最適のコースです。私たちは徹底した少人数指導で、ナノサイエンスの可能性を夢見る皆さんを入学から卒業、就職までサポートします。



理学部物理科学科
永田 潔文教授



理学部化学科
大熊 健太郎教授

早分かりチャート

これが福大インスティテュート

「インスティテュート」＝「専門クラス」時代に求められる専門的な内容を、少人数クラスで学ぶ

2つのインスティテュート

ナノサイエンス・インスティテュート

物理学と化学の両方を学び、21世紀の基本といわれるナノサイエンスの技術と知識を身に付ける。

- 将来は材料や医療、エネルギー、環境などの分野へ
- 教員免許取得可能：中学・高校「理科」ほか



社会数理・情報インスティテュート

理系や文系の枠を超え、数学をベースにして、社会システムや情報ネットワークを広く学ぶ。

- 大学院進学の道も(飛び級制度有り)
- 将来は金融関連・情報関連などへ
- 教員免許取得可能：中学・高校「数学」と高校「情報」





第19回懸賞論文（福岡大学学生部主催）において、論題「出生前診断と障害者の権利」で佳作となった吉永さん。

Book Review　私のとっておきの一冊　『眉山』さだまさし著　幻冬舎文庫

医学部看護学科3年次生　吉永 麻貴さん

大学1年次生のとき、映画化がきっかけで何気なく出会った小説です。読んでいて涙があふれ止まらなかったことを覚えています。

東京で働く咲子は、故郷の徳島で一人暮らす母、龍子が末期癌で余命数カ月と告知されます。徳島に戻り、母を看取ろうと決心した矢先、咲子は母が黙って「献体」を申し込んでいたことを知ります。咲子は初め猛反対しますが、"母の箱"に入った手紙で、まだ会ったことのない父の存在と、母の思いにたどり着きます。

龍子は一度しかない限りある人生の中で、全ての人を平等に愛し、自分の人生・生き方に誇りを持ち、信念を貫いて生きていきます。この本は、家族や周りの人とのつながりを通し、優しさとは何か、愛するとは何か、また一つ一つの命の重みが不鮮明になってきている現代に、人間の「命」とは何か、ということを考えさせてくれます。毅然と生きてきた一人の女性の、切なく苦しい愛の物語です。

絆 エッセイ

学生がほっと安心でき、一歩を踏み出せるような支援を心掛けて

就職・進路支援センター事務室
清水 順子

福岡大学の職員となり、現在まで10年余り就職・進路支援センターに勤務しています。

就職・進路支援センターには進路に悩む学生も訪れます。面接や筆記試験対策の指導だけではなく、学生たちの話をじっくり聴き、表情や身振り手振りなどからも、内面の感情や不安を理解し、アドバイスができるように努めています。学生がほっと安心でき、一歩を踏み出せるような支援を心掛けています。

長い間この仕事を続けていると、忘れがたい印象の卒業生の方もいらっしゃいます。例えば、現在（株）フジテレビジョンでアナウンサーとして勤務している生野陽子さん。とても礼儀正しく、しっかりとした自分の考えを持った方でした。授業やサークル、アルバイトなどを通して、多くの方と関わってきた大学4年間での経験が、現在の彼女の活躍につながっていると思います。

生野さんからは、今でも時々連絡をいただきますし、相談に応じたたくさんの卒業生の方々が近況を報告してくれます。

このように、卒業されてからも多くの人たちと絆を深めていけることをとても嬉しく、誇りに思っています。これからもこのようなつながりを大事にして、また新たな絆を築いていきたいと思います。

就職・進路支援センターでは専任職員のほか、企業の採用に精通した進路相談員、カウンセリングの資格を持ったキャリアカウンセラーが学生の皆さんからの相談に応じています。ぜひ、就職・進路支援センターを利用してください。

Human Development Center Information
来てみて 話して こころの整理 ヒューマンディベロップメントセンター（HDセンター：学生相談室）

ヒューマンディベロップメントセンターでは、カウンセラーが皆さんからの相談を受け付けています。

例えば…

- なんとなくだるくてやる気がおきない
- よく眠れない
- 授業などに行くのがおっくう
- 人間関係がうまくいかない、キャンパスの居心地が悪い
- 前期試験のことが心配　…など

どんな相談でも結構です。一人で悩まずに、HDセンターに来てみませんか？

相談内容の秘密は守りますので、安心して相談してください。

［相談時間］月・水・金／9時30分～16時　火・木／9時30分～18時40分
［場　　所］学生部事務室棟3階（1階に学生課のある建物）

夏季セミナーのお知らせ

夏休み期間、下記のセミナーを実施します。ぜひ参加してみてください（参加費は無料です）。

①自己表現講座　9/10（木）12:40～16:00
②社会で役立つ対人関係スキルセミナー　9/3（木）12:40～16:00
③なりたい自分探しセミナー　9/7（月）12:40～16:00

※①、②、③のセミナーは事前の申し込みが必要です。

○現在各種グループも開催しています。詳しくはお問い合わせください。

相談は無料・予約制です　○ご家族・教職員の方からのご相談もお受けしています。

［ご予約・お問い合わせ］092-871-6631（代）（内線2630）※お電話は平日の16時30分までにお願いします。
ホームページ（http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu816/home1/hd1.htm）もご覧ください。

平成21年度　福岡大学特待生

学業成績ならびに品行が特に優秀な学生を「特待生」として表彰。
特待生に選ばれると奨学金（30万円。ただし商学部第二部は15万円）が授与されます。
平成21年度からは制度を見直し、全学部から215人程度（昨年度は89人）を選ぶようにしました。

人文学部

文化学科	堤　沙織
	森部　友梨
	山川　静香
歴史学科	中村　圭奈
	野田　真衣
	宮田優一郎
	山下　絵里
日本語日本文学科	有馬　葉月
	櫻井　愛雄
	藤井奈緒美
教育・臨床心理学科	川見　綾子
	佐々木彩文
英語学科	川龍　麗美
	合田　優子
	戸高　浩昭
	清江恵美子
ドイツ語学科	小野　誠
	片岡裕美子
	福田　知里
	山中　知美
フランス語学科	小谷奈緒美
	杉本　遼
	日巻　慶子
	行武亜由美
東アジア地域言語学科	岡本華緒莉
	藤田　花衣
	山崎三由香

法学部

法律学科	井伊　杏奈
	岩永　怜
	内田　斎規
	河野　希宙
	北村　有希
	佐用　朋子
	菖蒲　麻矢
	新玉　宏司
	関戸　貴章
	高添　秀
	鳥越　愛未
	長尾　知美
	西　晴香
	濵田　純一
	久佐木真理
法律学科	堀江　将生
	松山　祐平
	水田　侑宏
	山中　俊智
	横谷　和也
	吉川　省吾
経営法学科	井上真之介
	兼武裕次郎
	北嶋　太樹
	冨永　真宏
	野口菜美子
	野中　香澄
	長谷　翔
	春山　絵実
	松本　友希
	武藤　祐二

経済学部

経済学科	井上可保梨
	今溝　亮
	江本　早織
	大淵　大輝
	工藤　大
	城　豪志
	白石奈々絵
	首藤　昇吾
	瀬尻　拓也
	添田　光洋
	高瀬　仁
	田崎　愛
	田中信太朗
	築田　敬宏
	辻元　勇輝
	手島　由佳
	友納　美咲
	本庄　春佳
	松下　昌平
	村上　真理
	山崎　豊継
産業経済学科	石原　加奈
	稲光　千春
	片山　雄一
	金丸　典子
	草場　智貴
	佐藤　優依
	下岡　美穂
産業経済学科	野中　亮輔
	松坂　孝司
	結城　克哉

商学部

商学科	赤司　誠
	井本　幸秀
	木ノ下由絵
	佐野　友美
	林　佐智代
	林　奈美恵
	福田　雄介
	藤田　悠介
	村山美加子
	吉田　茉美
	吉冨　文香
経営学科	アオレイカ
	阿部　泰亘
	大藪　千愛
	小川堅志郎
	坂井　潤美
	高藤　美樹
	田中　優香
	徳久　幸司
	平井　智美
	峰　鉄平
	山根　美穂
貿易学科	上之　貴史
	倉富　由佳
	栗田　真美
	田村　恵美
	八谷恵梨子
	本多　広幸
	松原　南美
	松本亜由美
	横山沙央里

商学部第二部

商学科	飯田　恭大
	石田　晃一
	圓福　真琴
	熊谷　昌和
	熊崎　夏樹
	中尾　優子
	原　裕之
商学科	松本　壮騎
	宮本　理加

理学部

応用数学科	柿田圭一郎
	澤邉　彩佳
	村上　達耶
物理科学科	石川　大樹
応用物理学科	石橋　優作
	西山　明子
化学科	麻生　真以
	早田　葵
	西嶋あゆ美
地球圏科学科	安部　実希
	梅本紫衣奈
	立作　大樹

工学部

機械工学科	岩永　達也
	岡崎　三郎
	中村　雅俊
	福田　泰宏
	松永　祐樹
電気工学科	伊東　健吾
	海平　和也
	篠沢　証
	福田　聖
	藤田　敏也
電子情報工学科	安住　美保
	奥　翔太郎
	河野　千里
	清水　隆広
	城島　君守
	高崎　美夏
化学システム工学科	井上　尚亮
	佐々木義幸
	三浦　成美
	三宅　正樹
	山中　貴之
社会デザイン工学科	鎌田　翔大
	坂井　智美
	柴田みゆき
	竹際　絵里
	堅山　亮太
	矢野　健二
建築学科	上利沙矢香
	新久保達也
	中村　龍哉
	光永　怜史
	山川　千明

医学部

医学科	樫田　祐輔
	杉山　美樹
	竹下　翔
	中川　道元
	廣吉　淳子
	松本　翔
	渡部　宏
看護学科	片山　祐希
	岸川麻耶里
	榊原　彰花

薬学部

薬学科	安永　晋
	古市　佳奈
	古田　莉世
	山之上真央
	秋月智佳子
	森川　花絵
	赤司　唯
	竹之内美香
	刀根葉七子
	本田　宏美

スポーツ科学部

スポーツ科学科	小田宗一郎
	北園　貴志
	佐々木玲奈
	妹尾　政虎
	豊福美紗子
	中原麻衣子
	中道奈津子
	西嶌　晃一
健康運動科学科	池田渉一郎
	臼杵　広道
	玉城　聖也
	吉田　智恵

計205人

奨学制度がさらに充実　福大生の学生生活を、もっと「手厚く」支援したい！

本年度から上記のとおり福岡大学特待生の採用枠を拡大。さらに**福岡大学給費奨学金枠を200人程度**（昨年度は104人）**に増やしました**。本学はこれからも奨学制度を充実させていきます。

福岡大学奨学金

1 福岡大学給費奨学金
返還義務のない奨学金で、給費額は文系学部30万円、理系学部50万円、商学部第二部は15万円です。

2 福岡大学奨学金
返還義務のある奨学金で、卒業後10年間以内（無利子）に返還しなければなりません。貸与年額は64万円です。

緊急貸与：定期の採用時以外でも家計が急変し修学が困難になった場合は、願い出により緊急に奨学金を貸与することがあります。

その他にも日本学生支援機構奨学金、都道府県その他の奨学金、学生少額緊急貸付など、相談に応じています。**詳しくは学生部学生課の奨学金窓口で尋ねてください。**

奨学金の申請スケジュール

奨学金募集説明会
※印鑑証明書や収入に関する証明書の申請、連帯保証人や保証人自身に書いてもらう書類などが必要です。

↓

申請書類点検
※申請書類一式のほか、「筆記用具」「本人の印鑑」「本人名義の奨学金振込口座の通帳またはキャッシュカード」を持参してください。

↓

インターネット入力
※FUポータルの「奨学金メニュー」の「奨学金申請」をクリックし、書類点検を受けたFUポータル奨学金入力記入用紙をもとに入力してください。

↓

書類再提出
※FUポータルの完了時画面に表示される「申請完了日時」を「FUポータル奨学金入力記入用紙」の上部に転記し、書類一式を学生課奨学金窓口に提出してください。

↓

完了
※「奨学金のしおり」に記載されている申請完了後の日程をよく確認してください。

※本年度の福岡大学給費（一号）奨学金、福岡大学奨学金、日本学生支援機構奨学金の募集はすでに終了しています。

固い友情がある。さあ、君もSTAND UP！新しい出会いが、きっと待っている。

気力、忍耐力 そして集中力。 スポーツのように 書道に立ち向かう。

書道部







幹事：森 康彦さん
（工学部社会デザイン工学科 3年次生）（左）
☆第13回全日本高校・大学生書道展で大賞受賞

副幹事：西 健太さん
（工学部機械工学科 3年次生）（右）
「初心者でもOK。優しく指導します。一緒に書道に熱く燃えましょう」

週2回、月曜と金曜の夕方。有朋会館の一室は、凛とした空気が漂います。書道は気力、忍耐力、集中力をもって作品を創りあげる真剣勝負。一方で、墨の香りに癒やされ、心の安らぎを得ることも。また、仲間たちとの切磋琢磨こそが喜びや成長へとつながります。来年は創部50周年。OB・OGの方々と合同で開催する「福岡大学書道部展」などの行事も予定されています。本学正門表札「福岡大学」を揮毫した大原斎龍先生の指導の下、部員たちは今日も静かにそして熱く書道に取り組んでいます。

馬たちの世話も 部員一人一人で。 コミュニケーションが 一心同体を生む。

馬術部







幹事：堀 智佳子さん（法学部法律学科3年次生）（右）
副幹事：奥村 彩香さん（法学部法律学科3年次生）（左）
「普通とはちょっと違う学生生活を送りたければ馬術部へ！」

七隈キャンパスから南片江方面に少し歩いて、坂道を登った所に「馬場」があるのを知っていますか？飼われている馬は9頭、部員は12人。本学の馬術部です。部員たちにはそれぞれ担当の馬がおり、餌やりからブラッシングまで自分たちで世話をしています。その中で育まれた馬と部員とのコミュニケーションが、馬術競技の基本。一心同体にならなければ、障害を飛び越えることはできません。春季の九州学生馬術競技大会では、堂々の優勝。二連覇を目指し、週6日（火曜～日曜 朝と夕方の2回）の練習に励んでいます。

100人を超える 大人数で 一つの曲を合奏する 充実感と達成感。

交響楽団







幹事：堤 大輔さん
（工学部電気工学科3年次生）（右）
副幹事：尊田 尚和さん
（工学部電子情報工学科3年次生）（左）
「巧みで躍動感のある演奏という伝統を守りつつ、新しい魅力にチャレンジしています！」

多彩な個性の大人数が、一つの曲を演奏するために、一つにまとまる。その時のハーモニーはとても深く広く、情感にあふれています。それが交響楽団の大きな魅力。部員は現在103人という近来にない大人数で、豊かでスケールの大きな響きを奏でています。普段の練習は週3回。演奏会が近づくと、ほぼ毎日練習に明け暮れます。それでも楽しい、と口をそろえる部員たち。音色で確かめ合う友情は掛け替えのないものだそうです。今年の目標は交響曲の演奏。美しく力強いアンサンブルが期待できそうです。

全国各地から集まった 仲間と共に今、 なぎなたに青春の 炎を燃やす。

なぎなた同好会







主将：佐々木 唯香さん
（スポーツ科学部健康運動科学科4年次生）（中）
副主将：橋本 裕子さん
（スポーツ科学部スポーツ科学科4年次生）（右）
幹事：勝山 綾香さん
（スポーツ科学部スポーツ科学科3年次生）（左）
「全国からいろいろな個性の持ち主が集まって楽しく、そして仲良く頑張っています」

相手との駆け引き、得意技を出すために張る伏線、そして一本取った時の喜び。部員たちは、なぎなたの面白さを熱心に語ってくれました。なぎなたのサークルのある大学は全国的に数が多いとはいえません。みんな、なぎなたを続けたくて全国各地から福岡大学に集まりました。それだけに熱心さは人一倍。週5回（火曜～土曜）の道場練習と週1回（月曜）の基礎トレーニングを行っています。目標は、先輩たちが成し遂げられなかった全国大会での団体優勝。そして、これも先輩たちの悲願だった「部」への昇格です。

文部科学省科学研究費の研究助成を受けている地域貢献プロジェクト

インターネットテレビ電話を用いた心理臨床在宅支援システムの開発

いつでも、どこでも、誰もが安心「こころの健康づくり」の機会を。

福岡大学人文学部教育・臨床心理学科講師 長江 信和



地域社会のニーズに応えきれていない現状

外傷後ストレス障害(PTSD)という言葉を知っていますか？PTSDとは、死の恐怖をもたらす出来事を経験した後、長く続く心身の病的反応で、その出来事の再体験(フラッシュバックや悪夢)等が特徴的です。通常は時間の経過とともに心身の反応は落ち着くのですが、あまりにもショックが大き過ぎる時や個人のストレスに対する過敏性が強い時には、大きな障害となることがあります。日本では阪神・淡路大震災の後に認知され、注目を集めるようになりました。

長江信和先生の研究の目的は、PTSDや日常のストレスなどに有効な在宅支援システムを開発し、「こころの健康づくり」を推進することにあります。「研究はまず、『こころの健康』の現状をWebにより調査することから始めました。都心部住民では成人の10人に1人がこころの病(不安障害や気分障害)を経験していましたが、約8割の方は、医療機関を利用していないことが分かりました。生活の忙しさや相談費用の問題、精神科医療に対する不安、自力での回復を望むこと等、さまざまな要因が見つかりましたが、従来型の専門機関では、地域社会の方々のニーズに応えきれていない現状が明らかとなったのです」。

インターネットテレビ電話を用いたポータルサイトを開発

地域住民のこころのニーズに応えるためにはどうすればよいのか。長江先生はユビキタス・ネット社会の成長に着目しました。2010年以降、日本は次世代ブロードバンドの整備、個人用の情報端末や無料インターネット電話の普及などにより、世界でも有数なユビキタス・ネット社会へと変貌を遂げます。経済的・時間的・地理的・心理的制約を最小限に抑える、新たなコミュニケーション手段を活用することで「こころの健康」づくりに役立てるのではないかと考えたのです。「誰にも相談できず、地域で苦しんでいる方へ、良質な心理社会的援助を提供することができます」と長江先生。2008年には、遠隔カウンセリング・アセスメント・コンサルテーションを行えるポータルサイトを開発しました。それが「ユビキタス・カウンセリング」です。



「ユビキタス・カウンセリング」には、月平均して2000程度のアクセスがあります。「知名度のアップが課題です。本学関係者はもちろん、どなたでもご利用いただけますので、どうぞお気軽にアクセスしてください」と長江先生。

Webで検索 ユビキタス・カウンセリング 検索



新たな心理臨床在宅支援の試み「ユビキタス・カウンセリング」

「ユビキタス・カウンセリング」は、いつでも、どこでも、誰もが安心！をキャッチフレーズとして、インターネットを介した新たな在宅支援を提供しています。サイト内の「こころのセルフヘルプ」では、心理テストやリラクセーション法、読書療法を通じて、自分の問題を整理したり、解決することができます。「地域の相談機関」では、国内外を問わず、悩み事や相談事を受け付けている地域の専門機関について調べることができます。「ネットカウンセリング」では、電話相談やテレビ電話相談が利用できます。ユビキタス・カウンセリングには、臨床家はもちろん、法律家や研究者など広範囲の専門家が携わっています。研究者は、地域貢献プロジェクトの計画や管理を行い、カウンセラーへの指導や苦情相談の窓口も務めています。さらに長江先生はこう付け加えます。「ご相談に対しては、臨床心理士や精神保健福祉士、社会福祉士等のネットカウンセラーが応対しています。対人援助の有資格者には、法律や倫理綱領によって信用失墜行為の禁止や守秘義務が課せられていますので、安心してご相談いただけます」。これらのサービスは、文部科学省科学研究費の研究助成を受けているため、すべて無料です。「費用を頂かない代わりに、調査や実験でご協力をお願いしています」。

学生の皆さんが自覚を持ち成長していく機会に

長江先生のゼミに所属する学生の皆さんにとっても、この研究は有意義な学びの機会になっています。専門性が高いことから、学生が直接参加することはできませんが、第一線で働く臨床家や研究者の仕事を見聞きすることで、最新の知識を得ることができます。「ITやデータ解析、英語のスキルを磨き、臨床経験を積み重ねて、将来的には、ネットカウンセラーとして活躍してもらいたい」と、長江先生は大きな期待を寄せています。



長江先生のゼミ生の皆さん。今年の8月に長崎で開催される「日本カウンセリング学会」に参加し、この研究成果の発表を聞く予定。

Close-up! 長江先生の原点

世界放浪と多方面への関心

長江先生は、早稲田大学政治経済学部政治学科に入学し、卒業後は会社員になるものと思っていました。しかし、19歳の時にアジア旅行をした際に価値観が一転したのです。旅先でのさまざまな人々との出会いから、こころの本質について考えるようになりました。当時は自己主張が苦手で、対人関係でも悩みを抱えていましたが、ネパールなどの国々で多様な価値観の人々と交流した結果、臨床心理学の道に。帰国後、早稲田大学人間科学部人間基礎科学科に編入学。カウンセラーへの第一歩を踏み出しました。

また、長江先生はとても多趣味。雅楽の龍笛やシーカヤック、トレッキング等、幅広く関心を持ち、研究以外でも活動的な日々を送ってきました。

このようなさまざまな経験が、多様な人と向き合い、こころをほどくカウンセラーとしての魅力につながっているのです。



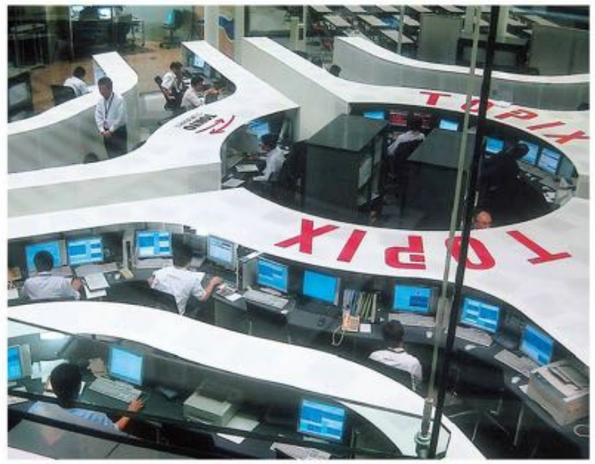


教育・臨床心理学科 HP 福大 教育臨床心理 検索

公務員の仕事に関する法現場での比較学習

**公務員という仕事を現場で体感し、
自分の将来を早い時期から具体的に考える。
夢を確かな目標に変えるために。**

課題責任者 法学部 廣澤 孝之 教授
植山 克郎 教授



政府機関のほか、東京証券取引所なども訪問。

法学部には、将来の進路として公務員を目指す学生が少なくありません。そんな学生の皆さんに、早い段階（1年次）から日本の政府や中央官庁・自治体等の役割を考えさせ、さらに公務員の実務を実際に現場で体験して学んでもらうのが、この体験型演習です。

「専門的な知識の修得を目指すのではなく、公務員の実務がどのようなものであり、その職に就くことにどんな意味があるのかを認識してもらうことに主眼点を置いています」と語るのは廣澤孝之教授。昨年度は2グループで東京研修を中心に実施しました。まず受講生は教室で、大学での学習の基礎となる文献調査や演習での報告の基礎を学び、1グループは福岡市役所で地方公務員の研修、さらに東京における研修を行いました。研修先は東京都庁、最高裁判所、参議院、警察庁、日本銀行、東京証券取引所等です。

もう一つのグループは福岡地方裁判所・福岡刑務所での研修を経た後、同じく東京へ。国会議事堂、文部科学省博物館、内閣官房等を見学し、さらに5班に分かれ、それぞれが課題施設（外務省、貨幣博物館、明治大学博物館刑事部門等）の見学も行いました。この研修が受講生にとって得難い貴重な体験となったことは、研修後のレポートからもうかがえます。



植山 克郎 教授



廣澤 孝之 教授

学生Report 01

公務員というと、「あまり忙しそうではない」というイメージがあったのですが、今回の市役所訪問でそのイメージは完全に消えました。市役所の方々のお話を聞いていると、さまざまな部署の方々が日々たくさんの政策の実現のためにあちらこちらで働いていることが分かり、私たちが安心して暮らしていけるのは市役所の方々のおかげなのだと思いました。（福岡市役所研修）

学生Report 02

印象に残っているのは、地方裁判所などの法廷では原告席と被告席とが向かい合う形になっていて、裁判官から見ると当事者は横を向いて着席する形になっているのに対し、大法廷では、当事者が裁判官の方を向いて着席する形になっていたところです。この座席配置は、最高裁判所が果たす役割が地方裁判所や高等裁判所と違うことを示しているのだと思いました。（最高裁判所研修）

学生Report 03

対イラク外交を例に挙げて、外交実務の現場について説明していただきました。外交実務において重要なことは政策手段（ツール）であり、政策目標に応じて選択・発動されたツールの相対的外交になるのだそうです。特に、日本が他の国からどれだけ愛されているのかを日本人はもっと知るべきだ、と熱く語られたことが、強く印象に残っています。（外務省研修）



国会議事堂



最高裁判所

Student's voice
参加者の声

公務員のインターンシップ

この研修で、現場で働く公務員の方々を知り、良い刺激を受けました。オフィスの雰囲気を感じることができたのも収穫でした。私は国家公務員志望ですが、モチベーションがさらに高まり、今は本格的に試験への勉強を始めています。私にとってはインターンシップのような体験でした。

出口 絵理さん
（法学部法律学科2年次生）



現場で話を聞けた貴重な体験

裁判所の事務官の方に現場の体験談を伺ったのが、とても印象に残っています。質問にも丁寧に答えていただきました。ぼんやりと公務員になりたいと思っていましたが、この研修で公務員の仕事を実感し、さらに仕事の大変さや、やりがいも知ることができて、確かな目標に変わりました。将来は役所の職員として現場に立ち、地域社会や人々のために貢献していきたいと思います。

竹中 大貴さん
（法学部法律学科2年次生）



学生Report 04

今回刑務所を見学してみて、あらためて罪を犯すということがどういうことなのかを考えることができました。それと同時に、生活が苦しいために刑務所に入りたくて罪を犯す人がいる現状を知り、社会による配慮や精神的なケアなど、どうすればよいのかを考えていかなければならないと感じました。（福岡刑務所研修）

学生の皆さんのレポートには公務員に対してのイメージが大きく変わったことや、官公庁や関係機関の現場を肌で感じたことなどが、新鮮な驚きと感動を持って記されています。また、現場の方々や雰囲気に刺激されて社会や人間、人生について深く考え始めた様子も。「この教育プログラムを通して大人になったな、という手応えはありますね。新しい体験、出会い、仲間たちとのディベート、レポート作成。そのような過程を通して、確実に成長しています」と廣澤教授。

もう一人の課題責任者である植山克郎教授は「公務員志望者が中心ですが、この教育プログラムは、法学部生誰もが一度は考える市民としての社会責任、社会貢献への気付きの場でもあるのです。また、どの職業を目指すにもまず、その仕事を具体的に知ることが大切です。公務員になるには採用試験に合格しなければなりませんが、逆に、それはスタートにすぎません。その先をどう歩むのかを具体的に考え、志望を固める第一歩になれば」と語ります。

1年次という早い時期に、公務員という仕事を現場で体感する。それは自分の適性を見極め、夢を確かな目標に変え、モチベーションを高めることにつながります。また、社会に役立つ大人への成長のステップでもあるのです。

東京での研修風景（1年次の9月に実施）。
2グループに分かれ、一般では見学が難しい施設等も見学。
現場の方々に貴重な話を聞くことができた。



国会議事堂 衆議院議場



農林水産省の職員から、世界の食料需給の動向と日本の食料自給率について説明を受ける。



最高裁判所

就活日記 My チャレンジ

たくさんの人と出会い、話すこと。それが前進へのエネルギーになる。



工学部電気工学科
2006年卒業
工学研究科電気工学専攻
博士課程前期 2008年修了
藤井 恵太さん

日本電気(株)(NEC)
第一コンピュータソフトウェア事業部

藤井さんは、2006年に本学の工学部電気工学科を卒業後、本学大学院工学研究科に入学。2008年3月に大学院を修了後、現在の会社に就職されました。「一番の志望動機はIT業界に興味があったからです。ITの力で世の中を便利にしたいと思っていました。その目標のために、技術力のある現在の会社に進もうと思って就職活動をしたわけですが、説明会や面接で会った社員の方々がとても魅力的だった」ことも就職先を決めた大きな理由だそうです。

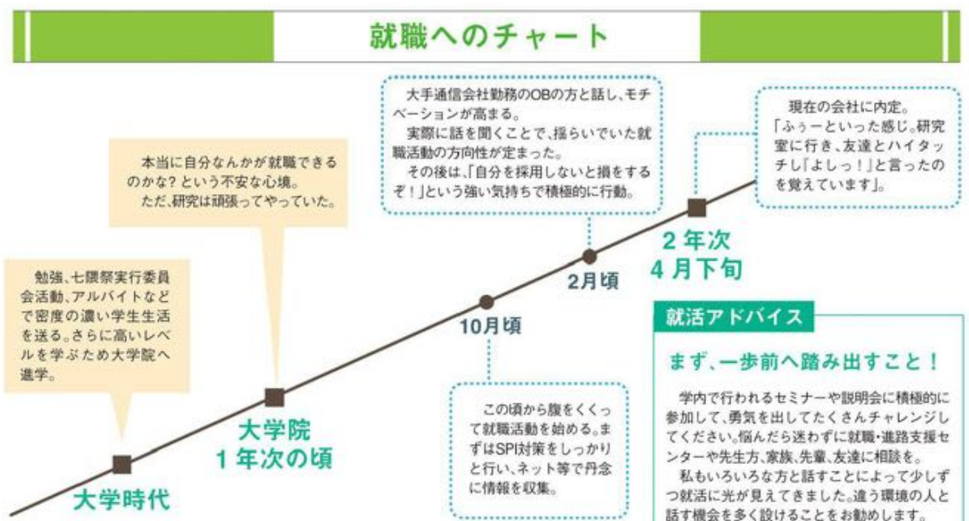
藤井さんの就活コンセプトは、「できるだけ多くの人に出会い、直接話すこと」。その思いは、大学時代の4年間で培われました。「学生時代は七隈祭実行委員として活動。100人を超える大きな委員会なので、時には意見が食い違うこともありました。そんな時には向かい合って徹底的に話し合ったことで、自分の短所や長所を見つめ直すことができました。そして、皆で力を合わせれば大きなことを成し遂げることができるということも学びました。委員会での経験が、私を確実に成長させたと思います」。

本格的に就職活動を開始したのは大学院1年次の2月から。SPI対策をしっかりと行い、ネット等で丹念に情報を収集されたとのことですが、一番効果があったのは、やはりOB訪問だったそうです。「実際に働いていらっしゃる方と話して得た情報が、何より有益でしたね。面接では、自分を採用しないと損をするぞ！という強い気持ちを常に忘れないようにし、その気持ちを支えてくれたのも、大学での多くの経験でした。密度の濃い学生生活を過ごすことができたので、どんな質問が来ても慌てずに答えることができました。勉強や委員会活動、アルバイトなど、一生懸命やってきたことを率直に話したことが良かったのだと思います」。

たくさんの人と出会うこと、話をじっくり聞くこと、自分の考えをしっかり話すこと。それは自己を知り、コミュニケーション能力を磨くだけでなく、一歩一歩前進するためのエネルギーになります。藤井さんの就職活動の軌跡は、何よりそのことを教えてくれているようです。

※SPIとは、Synthetic Personality Inventoryの略称で、就職・転職における採用選考テストの一つとして用いられています。

就職へのチャート



就活アドバイス

まず、一歩前へ踏み出すこと！

学内で行われるセミナーや説明会に積極的に参加して、勇気を出してたくさんチャレンジしてください。悩んだら迷わずに就職・進路支援センターや先生方、家族、先輩、友達に相談を。

私もいろいろな方と話すことによって少しずつ就活に光が見えてきました。違う環境の人と話す機会を多く設けることをお勧めします。

Fの鼓動

動いている。何かを探し、何かをつかもうとしている。
聞こえてくる。福大生たち、それぞれの熱い鼓動が。

出会い、感動、そして夢。すべてが前進へのパワーになる。

スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻 博士課程前期 2年次生 川面 剛（かわづら つよし）さん
［プロバスケットボール・bjリーグ「ライジング福岡」所属］



放たれたフリースロー。ボールが美しい放物線を描いて、ゴールに吸い込まれていく。すごいなぁ。バスケットボールリーグ・トップチームのプレーに、川面剛は感動した。夢を与えてくれた。僕はバスケットプレーヤーになろう。約20年前、その出会いが始まり。

彼はバスケに打ち込んだ。地元・北九州市の高校を卒業後、大学でも活躍し、大阪の実業団チームへ。彼が中学生の時に憧れた、あのトップチーム。レギュラーポジション（ガード）を取り、自身が美しいフリースローを放つようになった。2002・2003年シーズンには、フリースロー賞を獲得。2005年、日本バスケットボールリーグ（ＪＢＬ）とは別に、日本プロバスケットリーグ（ｂ.ｊリーグ）が発足した。発足趣旨にはこう書いてあった。「プロフェッショナルかつエンターテインメントあふれるプレーを魅せるとともに、地域社会におけるスポーツ文化の向上と国際化に貢献することを目的とする」。彼は、福岡」に入団した。

あの20年前の出会いの時、感動と同時に、なぜ地元にバスケのトップチームがないんだろう、とずっと感じていた疑問が、彼を動かしたのかもしれない。プロのパフォーマンスを地域の人に見せながら、地域の子どもたちにバスケを教えていこう。出会いと感動の場を広げていこう。彼はｂ.ｊリーグの「ライジング福岡」に入団した。

教えるためには理論と知識が要る。将来はチームのヘッドコーチにという夢もある。川面は福岡に戻ると、福岡大学大学院スポーツ健康科学研究科に入学した。研究テーマは「バスケットボールのゲーム分析」。日々の試合がそのまま研究材料になる。福岡各地域の小・中学校を訪問してバスケを教えている。昨年は2,000人。今年は3,000人にバスケの楽しさを伝えていくつもりだ。

福岡に戻って、忘れられない出会いもあった。病魔と闘う、バスケをしていた少年。ある縁で彼のことを知った川面は病院に見舞いに行き、サインボールを贈った。少年はもう一度バスケがしたいと、リハビリにも意欲的になった。川面は少年から元気をもらった。

バスケを通した出会い、感動、そして夢。そのすべてはパワーとなり、川面のパフォーマンスを輝かせる。常に前進できる。

10年後、自分は指導者になっている。20年後には指導した子どもたちから世界的プレーヤーが生まれている。フリースローの放物線のように、確かなイメージで描き続ける未来予想図は、思ったとおりにかなえられていく。きっと。


プロとしての自覚に支えられた、鮮やかなパフォーマンス。


地域の子どもたちにバスケを指導。川面さんは「ふくおかスポーツ夢大使」でもある。


PCでゲームを分析。独自の指導理論を完成させるために本学大学院で研究中。

※本文中敬称略。川面さんのお話をもとに再構成しました。

©福岡プロバスケットボールクラブ株式会社



見上げる星は誰にでもある。

国立天文台野辺山宇宙電波観測所 研究支援員
下井倉ともみさん 博士（理学）
福岡大学理学部応用物理学科（現・物理科学科）1998年卒業

いつも星空を見上げていた子どもの頃 大学時代は少林寺拳法に熱中して

鹿児島に住む幼い女の子は、いつも星空を見上げていました。息が止まるような美しさ、吸い込まれそうな怖さ。時さえ忘れてじっと星空を見上げていました。女の子は小学生になり、ブラックホールという言葉に出合いました。ブラックホールって何？どうして星は光るの？なぜ夕焼けは赤いの？たくさんの「？」を抱えて、学習することでそれを「！」に変えながら、少女は成長しました。そして自分が興味を持っていることが物理の領域であることを知り、物理が大好きになりました。

そして、福岡大学理学部応用物理学科へ。「大学では物理学の研究に没頭しました、と言えれば良いのですが、実は勉強以上に熱中したのが少林寺拳法です。全日本学生大会で3位に入賞するほど懸命に打ち込みました。授業に出て、アルバイトも頑張って、友人と夜まで語り合って。たくさんの人と出会い、さまざまな経験をした思い出は私のタカラモノです」。

転機は大学3年次。少林寺拳法部の幹部交代を境にスイッチを切り替え、大学院を目指して猛勉強を始めます。4年次には集中講義で宇宙物理、天体物理という分野を知り、子どもの頃のあこがれがよみがえりました。集中講義の講師は鹿児島大学大学院宇宙物理専攻科所属の先生でした。私もその道へ進みたい！　迷いはありませんでした。

合格。彼女の星は、再び巡り始めました。

鹿児島大学大学院で電波天文学と仕事とを両立させて博士の学位を取得

大学院での専攻は電波天文学。私たちは通常、光によって天体を見ます。その光の代わりに宇宙から届く電波をとらえて、天体の姿や宇宙そのものを研究するのが電波天文学です。星の誕生、銀河の誕生、その過程で発生するガスやちりなどが出す電波を観測し、データを分析することで宇宙を見るのです。「通常の望遠鏡では見ることのできない、はるか彼方の様子も、気の遠くなるような昔の出来事も観測できる。これはハマリますよ！」。

博士前期課程を終え、博士後期課程在学中に「宇宙の面白さや自分の研究を伝える仕事に就きたくて」、彼女は山口県防府市の青少年科学館に勤務するようになりました。社会人と学生の両立は想像以上に厳しいものでした。企画展の担当など学芸員としての仕事をしながら、帰宅後はレポートや投稿論文などの執筆。特に学位論文の執筆中は、何度も投げ出しそうになりました。もう博士号なんて取れなくていいやって」。支えてくれたのは科学館、大学院など周囲の方々。6年間の歳月をかけて学位を取得しました。「周りに生かされているということを実感しました」。

そして星はまた、ゆっくりと巡り始めます。





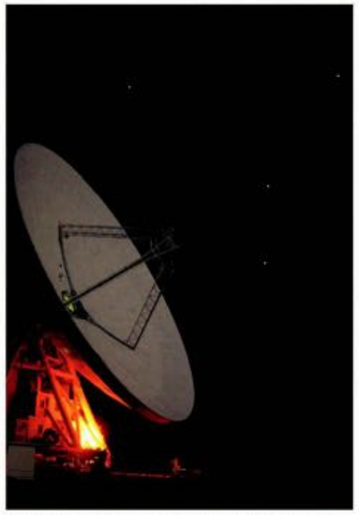
もっと多くの人に宇宙の面白さを、奥の深さを知ってほしい、伝えたい

博士号取得後、佐賀県立宇宙科学館に勤務していた彼女は、長野県の野辺山にある国立天文台が研究員を募集していることを知りました。「野辺山の天文台には宇宙電波観測所と太陽電波観測所が置かれています。電波天文学者にとっては聖地みたいな場所です。全国各地から多くの見学者も訪れます」。自分の研究と電波天文学、そして宇宙の面白さを広く伝えること。彼女の目標を実現するためには最適な環境でした。2007年11月、長野県の八ヶ岳山麓、澄みきった空気と豊かな自然に恵まれたこの地に、彼女は赴任しました。

この美しい地が一つのゴールですか？という質問に彼女はきっぱりと答えました。「いえ、スタートしたばかりです」。星巡り。巡る星座の一つ一つが違うように、紆余曲折を経てきました。もっと多くの人に宇宙の面白さを、奥の深さを知ってほしい、伝えたい。天文学者でありながら、視線は宇宙空間だけでなく、人にも同じように注がれています。そのような人としての情熱や豊かな感性が、福岡大学のDNA。ここにも確かに継承されていました。

星空を見上げていた幼い女の子は、物理が大好きな少女になり、電波望遠鏡で観測した星空を研究する女性になりました。星空の美しさは今も昔も変わらないけれど、それを見上げる人間はどのようにでも成長できます。自分自身を高めるために前に進むことができます。「誰にでも見上げる星はあるんです」。それが彼女からの福大生へのメッセージ。

あなたは最近、星空を見上げたことがありますか？



標高1,350m、高冷地の野辺山高原は天文観測に絶好の場所。45mという世界最大の口径を持つ電波望遠鏡など充実した設備もあり、世界中から天文学者が集まる。



第27回少林寺拳法全九州学生大会女子組演武 少拳士以上の部にて最優秀賞を獲得。〈第30回少林寺拳法全日本学生大会女子少拳士以上の部では優良賞（3位）〉。（右が下井倉さん）



下井倉さんが制作を担当した国立天文台野辺山の紹介パンフレット。

COLUMN 1

2009年は世界天文年 ― 星空を見上げてみましょう ―

2009年は、イタリアの科学者ガリレオ・ガリレイが初めて望遠鏡を夜空に向け、宇宙への扉を開いた1609年から、400年の節目の年です。国際連合、ユネスコ（国連教育科学文化機関）、国際天文学連合は、この2009年を「世界天文年（International Year of Astronomy：略称 IYA）」と定めています。世界中の人々が夜空を見上げ、宇宙の中の地球や人間の存在に思いを馳せ、自分なりの発見をする。それが世界天文年の目的です。このプロジェクトには140の国と地域が参加を表明しています（2009年4月18日現在）。スローガンは「宇宙…解き明かすのはあなた」。時には喧騒や時間を忘れて、頭上に広がる夜空を見上げてみましょう。



COLUMN 2

協定校パドヴァ大学はガリレオゆかりの大学

本学の協定校であるイタリアのパドヴァ大学は、1222年創立の名門大学。ガリレオ・ガリレイは、この大学で教鞭をとっていました。教員スタッフの中には『神曲』で有名なダンテの名も。また、地動説で有名な天文学者コペルニクスもこの大学で学んでいます。

FORCE OF F
創立75周年を機に「Fの力」をアピール

昨年から福岡大学では、本学の持つさまざまな力を象徴する言葉として、“FORCE OF F”（Fの力）というコミュニケーション・ワードを設定し、広報活動を展開しています。

“F”は言うまでもなく福岡大学の頭文字です。同時に、これまで福岡大学が育み、発揮してきたさまざまな力を意味する“Force”という言葉の頭文字でもあります。

本学は「建学の精神」として、「思想堅実・穏健中正・質実剛健・積極進取」を掲げています。また、「教育研究の理念」として、「人材教育と人間教育の共存」「学部教育と総合教育の共存」「地域性と国際性の共存」を掲げ、「建学の精神に基づいた全人教育を理想とし、この三つの共存をはかることによって、真理と自由を追求し、自発的で創造性豊かな人間を育成し、社会の発展に寄与することを目的とする」とうたっています。

“FORCE OF F”というコミュニケーション・ワードは、この「建学の精神」と「教育研究の理念」に立脚しつつ、創立75周年を契機にさらに福岡大学の存在価値を高めていくためのさまざまな力を取りまとめて表現した言葉です。

Fを頭文字とする英語には、福岡大学の力を表すのにふさわしい言葉がいくつかあります。例えば、Faith（信頼）、Fellowship（仲間）、Frontier（先駆け）、Flexibility（柔軟性）、Future（未来）などです。「信頼し合える仲間とともに時代の先駆けとなって柔軟に探索することによって未来を切り拓く」。福岡大学がこれまでに実績として積み重ねてきた、またこれからも目指していく姿をこう言い表すこともできます。

このように、“FORCE OF F”というコミュニケーション・ワードを中心にして、福岡大学の社会的使命と数々の魅力を広く世に伝え、さらなる飛躍を図る広報活動を推進しています。

創立75周年を迎えるにあたり、福岡大学の目指す理念や思想を広く浸透させ、その趣旨を理解していただくことを目的としたシリーズ広告です。福岡大学の頭文字であるFを使用し、福岡大学からのメッセージであることが伝わるデザインを目指しています。 福岡大学の教育・研究・医療を軸としたさまざまな取り組みを、Fから始まるキーワードをキャッチコピーに据え、明るく、分かりやすく紹介していきます。

平成20年8月〈電照看板〉

“FORCE OF F”シリーズの最初の広告です。通勤・通学時に繰り返し目に触れる場所であることから、あえて視覚的インパクトの強い、また飽きのこないビジュアルを重視して表現してみました。福岡大学が持つさまざまな魅力をFから始まるワードで表し、その歴史や伝統とともに、75周年を迎える現在の大学の勢いや時代感を訴求しています。



平成20年10月〈新聞広告：Future篇〉

1年後に75周年記念式典を控えるタイミングで作成しました。福岡大学の正門に大きなFの立体文字を据え、インパクトのある表現を目指しました。Fの中には、創立以来75年間で培われてきた福岡大学の英知がさまざまな形で開花し、今後もその歩みを進めていくという強い「未来への想い」が込められています。ちなみにこの広告はCGではなく、実際に巨大な「F」を製作し、撮影したものです。



平成21年1月〈新聞広告：Forward篇〉

年頭に際し、「常に前進していく福岡大学」を前面に、75年の歴史や伝統を継承しつつ、未来へ向けてさらに一歩、足を踏み出していく決意を、たくさんのFの立体文字を文系センター棟前の中庭内に配置することで表現しています。これもCGではなく、実際にたくさんの「F」を製作し、撮影したものです。



平成21年4月～〈新聞広告・交通広告〉

福岡大学が実際に取り組み、成果を挙げている「ファクト（事実）」を紹介しています。著名イラストレーターによるかわいいイラストをキービジュアルに、全体的にポップで明るい作風に仕上げることで、福岡大学が社会に貢献している姿を分かりやすく伝えることと、また、広告を見た人が福岡大学に親しみやすさを感じていただくことを目指しています。



新聞広告



新聞広告























「身体活動研究所」完成記念講演会を開催

4月9日（木）、第二記念会堂1221教室で、「身体活動研究所」完成記念講演会を開催しました。この講演は、平成20年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業として選定を受け、設立した「身体活動研究所」の完成を記念して行ったものです。

当日は、進藤宗洋本学名誉教授による「身体活動とエルゴメトリー」、京都大学名誉教授の久保田競氏による「身体活動と脳」と題した講演が行われた後、身体活動研究所所長の田中宏暁スポーツ科学部教授による同研究所の施設紹介も行われました。





平成20年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
「身体活動研究所」「先端分子医学研究センター」

「**身体活動研究所**」は、身体活動の健康科学に関する研究を遂行し、科学的根拠に基づく予防から治療までの処方を構築することおよび健康科学の研究を推進する中核として内外の共同利用に供することを目的として活動を進めていきます。

「**先端分子医学研究センター**」は、ガン、生活習慣病および免疫関連疾患の病因・病態解明ならびに分子標的療法を中心とした治療法・予防法の開発を目的として活動を進めていきます。

学校法人福岡大学が「AA⁻（ダブルAマイナス）」の格付けを維持

本学は、外部評価の一環として、株式会社格付投資情報センター（R&I）から、本年度で6回目となる格付け評価を受けました。その結果、昨年に引き続き発行体格付け「AA⁻（方向性は安定的）」を維持しました。「AA⁻」は21段階ある格付けの上から4番目の高い評価であり、本学の歴史や伝統、健全な財政運営に基づいた教育研究・医療におけるさまざまな取り組みが総合的に高く評価されたものです。

格付け取得の目的は、本学の信用力を自ら確認し、教育・研究・医療活動の維持・向上につなげることにありました。今後は、この評価結果を次のように活用していきたいと考えています。

(1) 学校法人福岡大学の信用力、財務の健全性、将来性を判断する指標として、学生・生徒、保護者、卒業生、受験生などに開示し、ブランド力の向上に生かします。
(2) 信頼度の高い第三者による評価結果を、時代や社会の期待に応える学園づくりに生かします。

本学は、今後も教学と経営の一層の充実に努め、教育力の高い魅力ある学園づくりを目指していきます。

本学初の「ノースモーキングデー」を実施

4月24日（金）、大学敷地内を終日全面禁煙とする「ノースモーキングデー」を七隈キャンパスで実施しました。本学初となるこの試みに、教職員32人および学生80人の延べ112人が、数日前から情宣のビラ配りを行うとともに当日も巡回を行い、学生および教職員の健康増進に向けて協力を呼び掛けました。



また、6月5日（金）にも、第2回目の「ノースモーキングデー」を実施しました。

今年も学生による「モラル向上週間」を実施

5月13日（水）から19日（火）にかけて、「モラル向上週間」を実施しました。これは、毎年、学友会総務委員会が主催しているもので、参加した学生たちはモラル向上を喚起するためのポケットティッシュを配りながら、歩きタバコを止めることや駐輪マナーを守ることなど、快適なキャンパスづくりを呼び掛けました。





学生生活をめぐる事件・事故を未然に防ぐために「学生生活安全講習会」を開催

5月15日（金）、826教室で「学生生活安全講習会」を開催しました。これは薬物乱用や急性アルコール中毒など学生がかかわる事件・事故を未然に防止することを目的とするもので、学友会各部代表を含む約500人の学生が出席し、真剣に耳を傾けました。

まず、中原学生部長が生活全般について諸注意を行い、その中で「学生の皆さん一人一人が福岡大学の学生として、また社会の構成員としての自覚を持ち、薬物乱用や飲酒事故を未然に防いでほしい」と呼び掛けました。

続いて、竹下医学部学生部委員が飲酒事故について注意を促した後、福岡大学病院救命救急センターの川野助手から、急性アルコール中毒の危険性とその防止策について詳細な説明がありました。

さらに、小野寺法学部学生部委員が薬物乱用の実態と学生を取り巻く状況等を解説したあと、「薬物乱用や飲酒事故は学生一人一人の自覚がない限り防止できません。各部の代表である諸君が率先して、防止に向けて行動してほしい」と訴えました。



平成21年度 学校法人福岡大学事業計画（概要）

目　標

1. 本学は「全人教育」を基本とする。学士課程教育においては、専門性を備えた教養人（人らしき人）の育成を重視し、多様な価値観をもった学生に対応した教育・指導を行い、生活を支援する。修士および博士課程教育においては、教養ある専門人の養成を目指す。
2. 本学の教育・研究・医療活動を国際的な視野のもとで地域的に推進するにあたり、さまざまな施策において「学生・生徒のため」、「患者のため」にという視点を重要視する。
3. 学部学科、大学院研究科および病院のほぼすべてが一つのキャンパス内にある中で、それぞれの学部学科および大学院研究科の個性・アイデンティティーを鮮明に打ち出すと同時に、柔軟な部門間の連携を図り、学術・文化・スポーツ・医療の振興・充実に努める。
4. 本学が有する資源（人材・施設・財源・情報）を有効に活用することによって、教育・研究・医療における活動成果を最大限に発揮するように努める。
5. 法人経営にあたり、法令を遵守し、情報公開に努め、透明性を高める。

1 教　育

- 教育力の向上
- 教育支援体制の充実
- FDの推進と体制の強化
- 学部・学科の再編
- 医学部医学科入学定員の増加
- 商学部第二部改革
- 研究科の再編
- 情報環境の整備
- 学生支援の充実
- 就職支援体制の充実・強化
- 特定スポーツの重点強化
- 質の高い入学者の確保
- 高大連携の推進
- 附属中学校・高等学校との連携強化
- 国際化の推進
- 自己点検・評価の充実と改善活動の実施

2 研究・情報

- グローバルFUプログラムの中間評価
- 外部資金獲得者に対する研究環境の改善
- 付置研究所における研究の充実
- 先端分子医学研究センターにおける医学・生命科学の研究拠点形成
- 身体活動研究所における身体活動の研究拠点形成
- 知的財産体制の充実
- がんプロフェッショナル養成プランの推進
- 情報セキュリティの強化
- 情報資産の保全策の検討
- 広報活動推進および戦略的広報体制の整備

3 医学医療・健康

（福岡大学病院）

- 腫瘍センターの整備
- 脳卒中ケアユニットの設立
- 心血管リハビリセンターの開設
- 新たな教育・訓練システムの構築

（福岡大学筑紫病院）

- 新病院建築の計画・実行の推進
- 地域医療支援病院としての機能確立
- 次期医療情報システムの導入
- 院外処方開設に向けた準備

（健康管理センター）

- 禁煙支援相談の普及および学内喫煙マナー向上の推進
- スリム教室の開催
- 職員定期健康診断の充実

（福岡大学診療所）

- 特定健康診査・特定保健指導の導入
- 健康診断の事後措置の充実と保険診療および産業医の活動拠点化

4 社会貢献

- 地域連携推進体制の整備
- 教員免許状更新講習の開設
- 産学官連携における知的資源・知財の活用
- 環境に関する社会貢献
- 生涯学習事業の積極的展開
- 地域完結型医療ネットワークの拡充
- 予防医学・医療活動の充実
- 学び直しニーズへの対応

5 経営基盤

- 収益事業等の推進
- 外部資金獲得事業の推進
- 恒常的募金体制の整備
- 資金運用の充実
- キャンパス整備
- 内部監査室、監事および監査法人との連携強化（三様監査の連携強化）
- 知的財産の運用および情報資産の保全

6 創立75周年記念事業

- 記念式典の開催
- 記念募金事業の推進
- 施設の整備
- 学部等が企画する記念事業の実施
- 校友・地域と一体化した記念事業の実施
- 著名人による連続講演会の実施
- ノーベル賞受賞者を囲むフォーラムの開催
- 協定大学長によるシンポジウムの開催





競争に打ち勝つ大学づくりへ、戦略的経営、すなわち戦略的な資金投入を

福岡大学の平成21年度予算は、去る3月26日開催の理事会および評議員会において承認され、成立しました。この予算には本学の目指す道が明確に示されています。皆さんも、ぜひ目を通してください。

少子化、国立大学の法人化、規制緩和による大学の乱立、医療費抑制など、私立大学をめぐる経営環境は厳しい状況になっています。本学はこの厳しい環境の中で、教育、研究、医療、施設などソフトとハードの質を上げることによって、競争に打ち勝つ大学づくりへの戦略的経営、すなわち戦略的な資金投入を行わなければなりません。この戦略的経営思考により、大学の有する物的資源（資金・施設・設備）と、人的資源を最も効果的に活用して、最大限に教育・研究・医療の成果を生み出していくことが必要なのです。このことが社会の共感を呼び、本学の特色となっていくと思われます。なお、重点課題であるキャンパス整備事業については、本学が活気にあふれた学びの場および近隣地域に開かれた知の場として役割を果たすよう推進していきます。



学校法人 福岡大学
常務理事
財政担当副学長
藤原 道弘

基本原則および内容　本年度の予算については、次の7項目が具体的な施策として盛り込まれています。

1 教育・研究体制の整備・充実

薬学部棟別館（仮称）、理学部新棟（仮称）などの新築工事をはじめ、教育活動支援として海外協定校への学生の派遣、教育装置・マルチメディア装置の整備・充実、教育マネジメントサイクルとエンロールメント・マネジメントの充実、身体活動研究所・先端分子医学研究センターなどの戦略的研究基盤形成支援事業の推進、研究施設運営支援など、教育活動ならびに研究活動の支援を実践します。

2 医療体制の整備・充実

福岡大学病院新診療棟（仮称）新築工事や大型機器の整備によって、地域社会にさらに貢献できる医療体制を充実させます。

3 財政基盤の強化

経常費補助金、施設・設備に関する補助、競争的資金の獲得を踏まえた文部科学省施策対応、両病院の収支の改善、進学説明会の整備と充実、大学入試センター試験利用入試の継続・充実、各地入学試験の拡大による学生・生徒の確保（志願者の確保）、経費節減策の継続、嘱託職員・アルバイトの活用、アウト・ソーシングの推進による人件費の抑制などを実践します。

4 学生支援の充実

給費奨学金の拡充、ティーチング・アシスタント採用人員の拡大により、学生支援をさらに充実させます。

5 低学費政策の堅持

6 優れた人材の確保

7 学生生活支援の充実

平成21年度収支予算は、前年度予算に比較して補助金、医療収入の増収が期待できますが、一方、人件費、教育研究経費、管理経費の増加により消費支出合計も増加するものと見込んでいます。学校法人福岡大学は、これからも「魅力ある大学づくり」を目指し、そのための収支の改善に取り組んでまいります。各位のご理解とご支援、ご協力を心からお願いする次第です。

平成21年度 学校法人福岡大学収支予算について

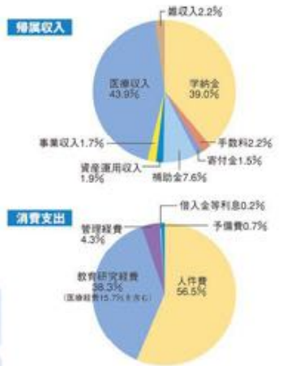
平成21年度予算の編成方針

1. 学生サービスのさらなる充実
2. 将来を展望した諸施策の実施
3. 財務体質の改善

教育研究の個性化・高度化
国際化の推進・産学官連携

平成21年度予算の重点施策

(1)教育・研究体制の整備・充実
(2)医療体制の整備・充実
(3)財政基盤の強化
(4)学生支援の充実
(5)低学費政策の堅持
(6)優れた人材の確保
(7)学生生活支援の充実



※各科目の構成比率は帰属収入を100%として表示しています。

平成21年度消費収支予算 （予算規模627億円）

収入の3本柱
- 学生生徒等が納める授業料や入学金などのこと。施講料や補講料も含みます。収入（帰属収入）の39.0%を占めます。
- 国や地方公共団体などからの助成金です。
- 福岡大学病院や福岡大学筑紫病院の医療収入です。

（単位：千円）

消費収入の部			
科目	21年度予算額	20年度予算額	差異
学生生徒等納付金	24,487,110	24,439,890	47,220
手数料	1,355,150	1,309,820	45,330
寄付金	955,670	1,230,440	△ 274,770
補助金	4,784,610	4,315,920	468,690
資産運用収入	1,197,210	1,528,340	△ 331,130
事業収入	1,043,230	1,168,150	△ 124,920
医療収入	27,526,240	27,288,780	237,460
雑収入	1,380,400	1,112,470	267,930
帰属収入合計	62,729,620	62,393,810	335,810
基本金組入額合計	△ 10,943,350	△ 6,755,520	△ 4,187,830
消費収入の部合計	51,786,270	55,638,290	△ 3,852,020

福岡大学が提供した教育・研究等の対価として受け取る収入で、負債とならない収入です。

良好な教育環境を維持するための施設・設備等の額であり帰属収入から差し引く金額です。

（単位：千円）

消費支出の部			
科目	21年度予算額	20年度予算額	差異
人件費（退職給与引当金繰入額）	35,446,590（1,865,070）	34,292,160（1,275,280）	1,154,430（589,790）
教育研究経費（減価償却額）	23,994,650（4,247,510）	23,514,330（3,793,630）	480,320（453,880）
管理経費（減価償却額）	2,717,800（294,330）	2,425,220（252,240）	292,580（42,090）
借入金等利息	105,370	67,140	38,230
予備費	426,560	842,300	△ 415,740
消費支出の部合計	62,690,970	61,141,150	1,549,820
当年度消費支出超過額	10,904,700	5,502,860	
前年度繰越消費支出超過額	5,059,100	6,520,050	
翌年度繰越消費支出超過額	15,963,800	12,022,910	
帰属収支差額	38,650	1,252,660	△ 1,214,010

教職員に支払われる給与などのことです。収入（帰属収入）の56.5%が充てられています。

学生生徒等の教育研究のために支出する経費です。

総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費などです。

福岡大学が消費する用役に対して支出する金額です。

帰属収入から消費支出を差し引いたものであり、純資産の増減を示します。

平成21年度資金収支予算 （予算規模1,087億円）

（単位：千円）

収入の部			
科目	21年度予算額	20年度予算額	差異
学生生徒等納付金収入	24,487,110	24,439,890	47,220
手数料収入	1,355,150	1,309,820	45,330
寄付金収入	955,670	1,230,440	△ 274,770
補助金収入	4,784,610	4,315,920	468,690
資産運用収入	1,197,210	1,528,340	△ 331,130
事業収入	1,043,230	1,168,150	△ 124,920
医療収入	27,526,240	27,288,780	237,460
雑収入	1,380,400	1,112,470	267,930
借入金等収入	2,400,000	2,347,000	53,000
前受金収入	5,335,960	5,476,210	△ 140,250
その他の収入	29,160,810	29,403,070	△ 242,260
資金収入調整勘定	△ 10,941,360	△ 10,831,460	△ 109,900
収入計	88,685,030	88,788,630	△ 103,600
前年度繰越支払資金	19,979,260	16,192,310	3,786,950
収入の部合計	108,664,290	104,980,940	3,683,350

土地・建物などの取得を目的とした返済期限1年を超える長期借入金の収入です。

●長期、短期の貸付金の回収額。
●特定の目的のために積み立てた預金等を解約した場合の収入額。

翌年度に入学予定の学生生徒等から受け入れる授業料や入学金などです。

収入として計上したが未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受け入れている収入を差し引くことにより、資金の収入額を調整するためのものです。

（単位：千円）

支出の部			
科目	21年度予算額	20年度予算額	差異
人件費支出	35,229,960	34,457,710	772,250
教育研究経費支出	19,747,140	19,720,700	26,440
管理経費支出	2,423,470	2,172,980	250,490
借入金等利息支出	105,370	67,140	38,230
借入金等返済支出	422,420	747,450	△ 325,030
施設関係支出	13,727,130	13,713,220	13,910
設備関係支出	7,594,160	2,550,610	5,043,550
資産運用支出	5,258,590	4,937,760	320,830
その他の支出	15,320,330	14,926,860	393,470
予備費	430,000	845,000	△ 415,000
資金支出調整勘定	△ 7,894,440	△ 4,135,860	△ 3,758,580
支出計	92,364,130	90,003,570	2,360,560
次年度繰越支払資金	16,300,160	14,977,370	1,322,790
支出の部合計	108,664,290	104,980,940	3,683,350

土地、建物、構築物などを取得するための支出です。

より良い教育研究サービスを提供するために、資金を積み立てるための支出などです。

教育研究用の機器備品、その他の機器備品、図書などを取得するための支出です。

支出として計上したが未払となっているものや、前払金支払支出として前年度までに支払っている経費を差し引くことにより、資金の支出額を調整するためのものです。

消費収支予算の概要 （前年度予算との比較）

注：↑…増加を示す　↓…減少を示す

消費収入の部
- 寄付金　↓75周年記念事業募金の減少。
- 補助金　↑国庫補助金の経常費補助金の増加。
- 資産運用収入　↓債券等の運用に係る受取利息の減少。
- 医療収入　↑患者数の増加。
- 雑収入　↑退職金財団交付金の増加。

◎帰属収入合計は627億円となり、前年比で3億円の増加を見込んでいます。

消費支出の部
- 人件費　↑教職員数の増加および退職給与引当金繰入額の増加。
- 教育研究経費　↑減価償却額の増加。
- 管理経費　↑75周年記念事業費の増加。

◎消費支出合計は627億円となり、前年比で15億円の増加となっています。

（消費収入と消費支出）
帰属収入から基本金組入額を差し引いた518億円が消費収入です。この額が消費支出に充てることのできる金額となりますが、今年度は627億円の消費支出を見込んでおり、消費収入と比較すると109億円の消費支出超過予算となっています。

（帰属収支差額）
帰属収入から消費支出を差し引いたものを帰属収支差額といいます。今年度は39百万円の帰属収入超過を見込んでおり、前年比では12億円の減少となっています。

資金収支予算の概要 （前年度予算との比較）

注：↑…増加を示す　↓…減少を示す

収入の部
- 寄付金収入　↓75周年記念事業募金の減少。
- 補助金収入　↑国庫補助金の経常費補助金の増加。
- 資産運用収入　↓債券等の運用に係る受取利息の減少。
- 医療収入　↑患者数の増加。
- 雑収入　↑退職金財団交付金の増加。
- その他の収入　↓特定預金からの繰入収入の減少。

支出の部
- 人件費支出　↑教職員数の増加。
- 管理経費支出　↑75周年記念事業費の増加。
- 設備関係支出　↑会計処理変更に伴うリース機器の計上。
- 資産運用支出　↑特定預金への繰入支出の増加。
- 資金支出調整勘定　↓会計処理変更に伴うリース機器の未払の計上。

（資金収支規模と次年度繰越支払資金）
- 資金収支予算の合計は1,087億円で、前年比37億円の財政規模拡大予算となっています。
- 資金収支のてん末としての次年度繰越支払資金は163億円で、前年比13億円の増加となっています。

学校法人会計の豆知識

● 資金収支計算とは
1. 毎会計年度、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入および支出の内容を明らかにします。
2. 当該会計年度における支払資金（現金等）の収入および支出のてん末を明らかにします。

● 消費収支計算とは
1. 毎会計年度、当該会計年度の消費収入および消費支出の内容と均衡を明らかにします。
- 消費収入とは、帰属収入（負債とならない収入）から基本金に組み入れた額を控除した収入です。
- 消費支出とは、会計年度中に消費する用役の対価および減価償却額等の非資金を加えたものです。

● 貸借対照表とは
1. 年度末における学校法人の財政状況（財産の状態）を表示する計算書であり、資産・負債・基本金および消費収支差額の項目があります。
- 資産とは、教育研究活動に使用される学校法人の財産です。
- 負債とは、返済しなければならない債務です。
- 基本金および消費収支差額とは、返済の必要のない学校法人の資産総額です。（正味財産）

本学公式ホームページでは、詳細な予算情報を公開していますのでご覧ください。

地域の福大　サポーター

1 BAL·BAL（バル・バル）　福岡市城南区片江5-8-8　TEL：092-866-1911

福大生が心地よい時間を過ごせるように頑張っています。

アジアンテイストの店内に、美味しそうな香りが漂っています。バル・バルは今日も福大生たちでいっぱい。5年前に開店して以来、お昼時はいつもこんな状態です。「結婚式の飾りなどに使うバルーンの仕事の片手間に始めたのですが、いつの間にかこっちがメインになって」と笑う、代表の村上ひろこさん。ランチはボリュームがあって、お酒落。しかも自家製デザートセットなどもあり、特に女子学生に人気があるのも納得できます。5月には店内を改装し、広い個室も設けました。「在学中に店でアルバイトをして、そのまま就職した人もいるんですよ」。地域とはもちろん、福大生とも深い絆で結ばれたお店です。



営業時間は午前11時～翌3時（土・日・祝は午後6時～）。ランチはもちろん、福大生のコンパなどにも大人気です。





ランチの人気メニューはスペシャルロコモコ丼（写真右）とシーザーからあげ丼（写真左）。どちらもドリンク付きで650円。からあげ丼は福大生のアイデアから生まれました。

代表の村上ひろこさん（写真左）とスタッフの松岡智子さん（写真右）。

2 フタバ図書GIGA福大前店　福岡市城南区片江5-51-16　TEL：092-874-0702

アルバイトもほとんどが福大生。まじめで熱心に働いてくれます。

梅林方面から福大トンネルを抜けるとすぐに見えてくる黄色の建物。西日本最大級の大型複合書店が6年前にオープンしました。25万冊の本、20万枚のCD・DVD、4万本のゲームソフト、そして25万本のレンタルと、多彩なジャンルと豊富な品揃えが人気です。「アルバイトもほとんどが福大生。みんなまじめで熱心に働いてくれるので、どうしても福大生を採用したくなります」と、店長の石崎修治さん。悩みのタネは、大学の長期休暇中や試験中となると、売り上げが落ちてしまうこと。「お客さまの多くが福大生なので仕方ありませんよね」と苦笑いの石崎店長です。



石崎店長とスタッフの皆さん。
「気軽に声を掛けてください。欲しいものはきっと見つかります！」。







1 大きな黄色の建物は、このエリアのシンボル的存在。
2 本コーナーは午前10時～翌2時。レンタルは24時間営業。

3 ビーフカレー専門店 カレー屋 辛樹（からき）　福岡市城南区友丘3-6-9　TEL：092-801-7443

福大生はカップルで来ることが多いですね。デートコースなのかな。

「本当に美味しい究極のビーフカレーを目指しています」。代表の川崎新吉さんは、力強く語ってくれました。時間と手間を惜しまずにビーフと玉ねぎ、直前に加えるスパイスで作られたソースは、濃厚で鮮烈、そして後を引く旨味。このソースを、さっと焼いた肉や別に調理された野菜、特注のごはんにかけるのが辛樹の特徴です。こだわりの味に魅せられ、福大生などお客さんの7割以上はリピーターだとか。実は川崎さんは福大OB。最近の福大生についてのコメントは「みんな優しいけど、スパイスが少し足りないね」。カレーと同じように、まろやかな中にもピリリと辛いものでした。



独特のレシピで作るオリジナルビーフカレーにこだわる川崎新吉さんと奥さま。



メルヘンチックな外観。店内は落ち着いた格調のある雰囲気。





人気のメニューは特製ビーフカレー（820円）。
営業時間：午前11時30分～午後2時30分、午後6時～10時30分。毎週火曜日定休。





4 マイマイスクール福大前申込所　福岡市城南区片江5-8-3　TEL：092-863-2278

運転免許証は、大人になるための免許証でもあると思います。

なんと入校希望者の90％以上が福大生という、御用達？の自動車教習申込所。特に7月下旬～8月末の夏休み期間中と、後期試験終了後の新学期前1月中旬～3月末は申し込みが殺到するとか。営業マネージャーの本村卓也さん（福岡大学法学部卒）は「福大生のための申込所という感じですね」と嬉しそうに話します。「自動車免許は『オトナ免許』だと思います。車に乗ることで交通マナーやルールを守り、社会的責任を自覚する。大人に成長するための免許なんです」。福大生には9月末までの予定で教習料金割引を行っているとか。「申し込みの際には、住民票と学生証を必ず持参してください」とのことです。



写真左からスタッフの本村卓也さん、入江道子さん、仲山大相さん。



広いロビーは福大生のコミュニケーションスペース。
営業時間：午前10時～午後7時。毎週土・日・祝日定休。



第8回 寄付者ご芳名一覧

福岡大学創立75周年記念事業募金の趣旨にご賛同いただいた皆さま方から、任意のご寄付にもかかわらず、多大なるご協力が寄せられておりますことに深く感謝いたしております。ここに、ご寄付をいただきました方々のご芳名を左記要領のとおり掲載させていただきます。なお、本募金は平成22年3月末まで実施いたしておりますので、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

■寄付者ご芳名掲載要領

一、本号では、平成21年3月14日から平成21年5月15日までの寄付者のご芳名を掲載します（以後、寄付者のご芳名の公表が終了するまで毎号で行います）。

一、法人、在学（校）生のご父母（保護者）、卒業生、職員、その他という募集対象区分ごと（寄付金額の多い順、およびご芳名は五十音順）に掲載します。

一、分割での払い込みの方は、平成21年3月14日から平成21年5月15日までにご寄付をいただいた金額と募金期間中の累計金額を（　）で掲載します。

※1 本募金活動終了後、最終寄付者名簿（芳名録）を作成し公表する予定です。

※2（減免税措置について）本募金は、原則として、個人・法人を問わず寄付金控除の対象となります。詳しくは、お手元にお送りしています「募金趣意書」に記載していますのでご覧くださいますようお願い申し上げます。

■寄付状況　平成21年5月15日現在

区　分	件　数	金額(円)
在学(校)生ご父母(保護者)	2,622	149,921,968
卒業生	2,877	110,197,523
法人	463	358,560,000
職員	882	78,582,000
その他	40	4,866,353
合計	6,884	702,127,844

募金に関するお問い合わせ先
福岡大学 創立75周年記念事業募金事務室
〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
TEL 092-871-6631（代）　内線2120～2122
FAX 092-871-6826
E-mail bokin@adm.fukuoka-u.ac.jp

法人（個人事業所を含む）

■五千万円
株式会社九電工

■五百万円
株式会社大林組　九州支店

■二百万円
福岡県医師会

■百万円
九州自動車リース株式会社
昭和鉄工株式会社

■五十万円
丸善株式会社　福岡支店

■十五万円
株式会社天童木工　福岡支店

■十万円
株式会社セノン

■五万円
株式会社加治屋商会

■三万円
株式会社ベクトル

ご父母（保護者）

1 福岡大学

■十万円
崎原 永啓 様
安士 達夫 様

■五万円
弁田 治幸 様

■三万円
匿名 様

■二万円
柴田 徹哉 様（三万円）
田尾眞智子 様
仲里 全達 様
中道雄二郎 様

■一万円
畦浦 公男 様
池田 成孝 様（二万円）
岩本 昌行 様
宇山 隆 様
浦田 征一 様
大原平八郎 様
緒方 朋昭 様
加藤 秀隆 様
境田 康隆 様
坪井 孝一 様

永尾 講記 様
中山 成人 様
西畑 英明 様
西本 弘志 様
浜中 洋明 様
比屋根 巧 様
平埜 秀次 様
細川 幹夫 様（二万円）
三村 直美 様
山口東一郎 様
山下 泰則 様

2 附属大濠中学校・高等学校

■五万円
波多江寅太 様

■二万円
加藤 一彦 様
早瀬 公浩 様
藤野 光司 様

卒業生

1 福岡大学（前身となる学校等を含む）

■二百万円
三ッ角直正 様（三百万円）

■三十万円
蒲池 諄 様
宿里 芳孝 様
松村 洋 様

■十万円
浅川 康司 様（二十五万円）
伊藤喜代益 様（六十万円）
内田 昭生 様（十四万円）
大宅 俊一 様
大堂 郷子 様
大堂 孝文 様
中村 秀治 様
野田 豊 様（十一万円）
平野 哲也 様
松本 謙二 様
三浦 徹也 様
山下 互 様

■五万円
沖野 智彦 様
小渡 良彦 様
下田 哲朗 様
平塚銀治郎 様
松永 義臣 様
安川 正之 様

■三万円
奥村 年和 様
西岡 榮一 様

■二万円
内田 勝美 様
城後 重俊 様
廣田 誠介 様（三万円）
樋口 清範 様
福田 真幸 様（三万円）
山脇 雄司 様

■一万二千円
田中香奈子 様

■一万円
荒津 繁樹 様
壱岐 泰子 様
井口 雄二 様
江崎 國治 様
大宅 慶孝 様
神里 大 様
神里 守 様
川嶋 智枝 様
神原 光視 様
城戸 信幸 様
倉迫 真一 様
小泉 滿 様
小間喜広通 様
巣山 千代 様
竹原 公子 様
辻川 勇 様
中島 猛雄 様
中見 嘉雄 様
中村 悦代 様
中村 友紀 様
橋本 博 様
花田 豊 様
萬田 勝直 様
本木 智佳 様
森田 雅博 様
森山 章子 様
山崎 賢悟 様
山本 章 様
吉田しず香 様
吉原万佐美 様
匿名 様（二万円）
匿名 様
水谷 順 様

■一万円未満
高橋孝一郎 様
中村 鈴奈 様

2 附属大濠高等学校（旧：附属大濠中学校・高校含む）

■五万円
内田 賢治 様
花田 進 様
松田 隆重 様

■三万円
隈本 照久 様

■二万円
匿名 様

■一万円
井口 雅利 様
匿名 様

職員（退職者・学外理事等を含む）

■百万円
故平田喜久雄（御遺族様）様

■二十四万円
中川 誠士 様

■二十万円
鹿志毛信広 様

■十万円
遠城寺宗近 様
大島 一彦 様
高野 行夫 様
田中 隆一 様
野島三千代 様
藤本三喜男 様

■六万円
米田 清 様

渡辺憲太朗 様

■五万円
池田 健一 様（十五万円）
石村 善治 様（二十万円）
金森 勝俊 様
小島 譲二 様
副島 博 様
藤 恵治 様
長田 葉美 様
溝口 政光 様（十万円）

■四万円
大熊健太郎 様（十六万円）
小野 信文 様（十万円）
塩出 英樹 様
中島 衡 様

■三万円
重松 幹二 様
田中 孝則 様
中島 学 様
早田 和秀 様
平田 和彦 様
保利 卓哉 様
山中 豊国 様
渡邉 直美 様

■二万円
朝海 舞 様
浅田 律子 様
今村 紗頼 様
江嵜 恵美 様
岡崎 正敏 様（七万円）
勝田まどか 様
岸本 佳子 様
工藤 邦彦 様
窪山 矢季 様

兒嶋 知花 様
坂口和歌子 様
佐藤あかね 様
塩路 幸生 様（四万円）
白石千恵子 様
田中香奈子 様
徳永 豊 様
中田久美子 様
那須 緑 様
野瀬美須津 様
野見山和久 様
馬場崎真実 様
平田 元祐 様
潤上真由美 様
松尾由美子 様
松崎華緒里 様
松田美奈子 様
松谷めぐみ 様
松吉 瞳 様
水戸 藍子 様
向井 美源 様
森脇 絵里 様
山内 清美 様
吉居加代子 様
匿名 様

■一万円
坂口ちか子 様
椎葉 大和 様（六万円）
柴垣 裕司 様
永見 知子 様
吉田 ミナ 様
吉田 亮子 様

■一万円未満
東 清見 様
松田 久男 様（五万五千円）
秋吉 智美 様

岩内 知子 様
田中奈緒子 様
早野 正子 様
古川ふみ子 様
濱崎 弘志 様（二万三千円）

その他

（在学生・卒業生団体・一般有志等）

■十万円
福岡大学 書道部 OB会 書心会 様

■五万円
續 雅仁 様

■一万円
福岡高等商業学校 第八回卒業生 東京同窓会 様

■一万円未満
馬場由紀子 様



創立75周年記念事業「施設整備事業」計画大要（募金対象事業）

「施設整備事業」所要資金総額300億円（概算）　〈資金計画〉自己資金280億円　募金目標額20億円

商学部棟（仮称）



本学で最も長い歴史と伝統を誇る商学部を軸とした75周年記念棟であり、他学部の学生も利用可能な学生満足度の高い、洗練された学びと交流の空間です。

完成予想図

新中央図書館棟（仮称）



教育・研究のさらなる発展にふさわしい設備と外観を備えたシンボル的施設として、本学が蓄積した膨大な知的財産や情報収集・発信のための学術情報システムを利用できる、地域社会に開かれた総合図書館を目指します。

完成予想図

福岡大学病院新診療棟（仮称）



新棟には、現在の外来部門のほとんどが臓器別センターとして移転し、総合周産期母子医療センター、小児医療センター、ハートセンター、消化器センターの入院病棟が開設され、地下鉄七隈線福大前駅と直結します。また、診療棟横に300席を有するメディカルホールと地階にはメディカルフィットネスを設置し、ここで健康・食育・創薬・医療の連携を実践していきます。

完成予想図

着工：平成20年10月　竣工（予定）：平成22年12月

附属大濠中学校・高等学校校舎及び体育館（仮称）



新校舎
完成予想図



新体育館
完成予想図

大濠公園、福岡城跡など緑豊かな環境に調和した、風格ある学校施設、また質の高い教育を行うための教室や教育設備の充実によるさらなる進学実績の向上を目指します。体育館は、大濠の象徴として、『文武両道』の教育方針のもと、全国制覇を目指す各運動部のさらなる活動の環境づくりに寄与します。バスケットコート3面という規模の大きさでは全国有数の体育館となります。

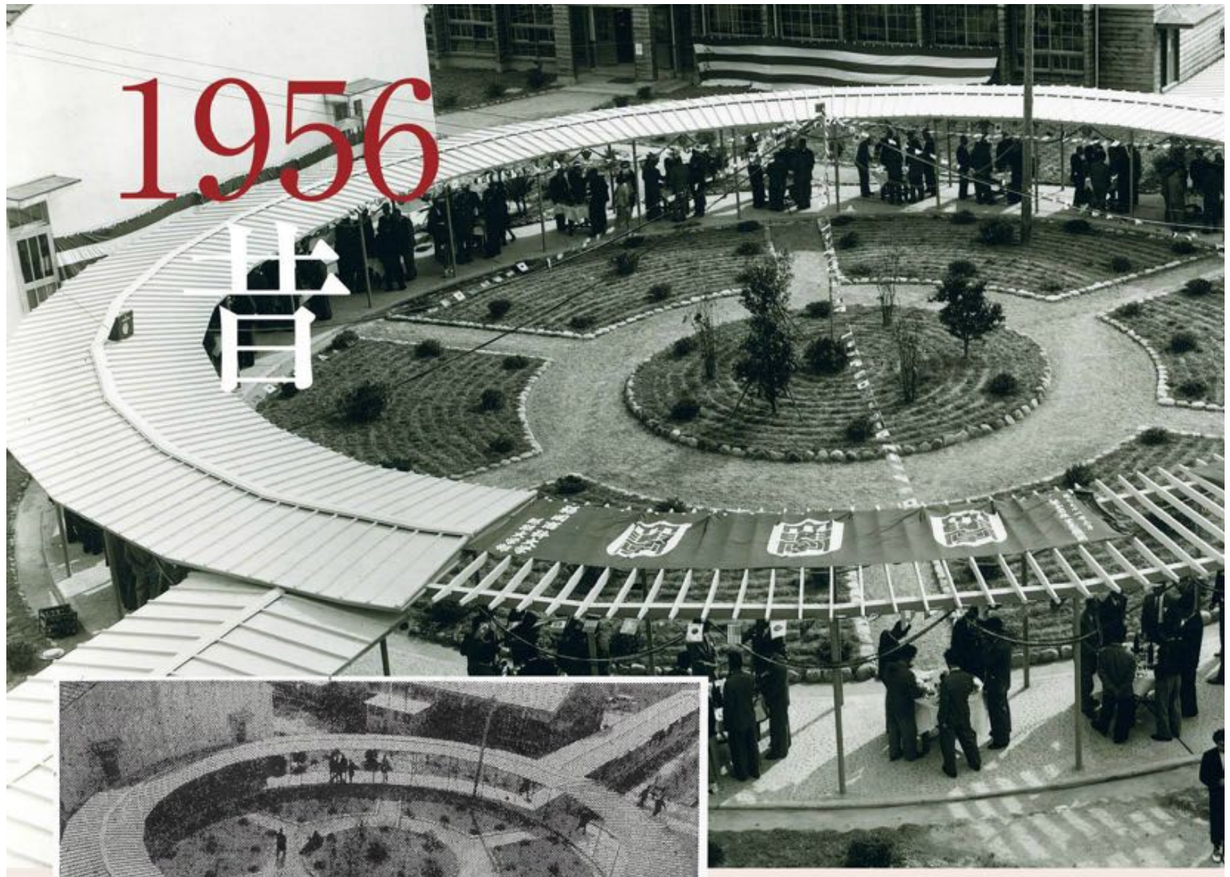
着工：平成20年9月　竣工（予定）：平成22年2月

あの時、この場所で。

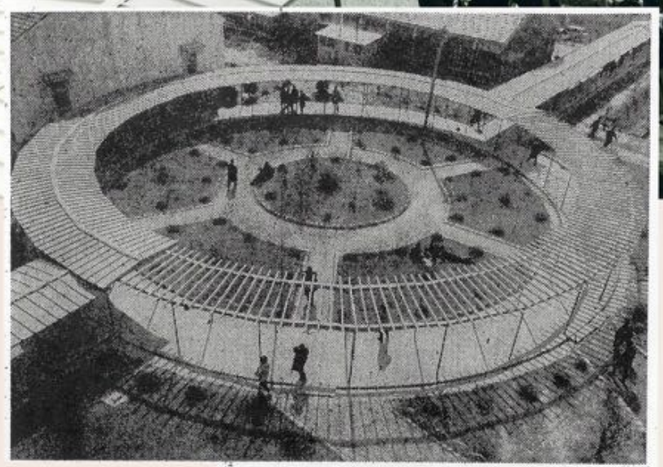
あの日の円形回廊での出会いや語らいは
卒業生たちの宝物。
今、生まれ変わったバラ園でのそれは
在学生たちの宝物。

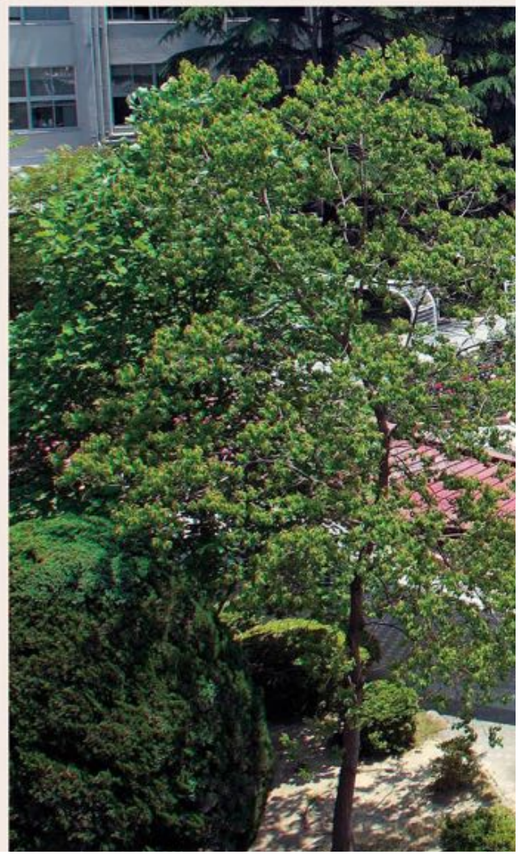
長い歳月を経ても色あせることなく、
思い出はいつも香しく、心の中に咲き誇る。





1956 昔





△…鉄とセメントの建物の谷間で校舎と校舎を結ぶ円形回廊は春めいた日ざしの中でこう考える。「年々歳々、学生たちを送り、また迎える。それらの顔はこれからの社会生活への期待と不安を刻んでいるものもあれば、新しい学園生活への希望にかがやくものもある。だが、私の役目は変わらない。四角四面

季節の構図 ②

円形回廊

な法律学、数字を並べた経済論……調べで疲れた学生たちの頭の重みを、私のこの造形的な美しさで、少しでもほぐせたら……」と。

△…ここは福岡市七隈の福岡大学の中庭。回廊の内外、校庭のいたるところが芝生。春の息吹きは青い芽をグングンはぐくんでいる。その〝春〟をかぐかのように芝生に寝ころんだ学生たちの胸も大きくふくらんでいく。＝写真は福岡市七隈の福岡大学の円形回廊

朝日新聞　1960年2月24日付
「季節の構図」福岡大学の円形回廊

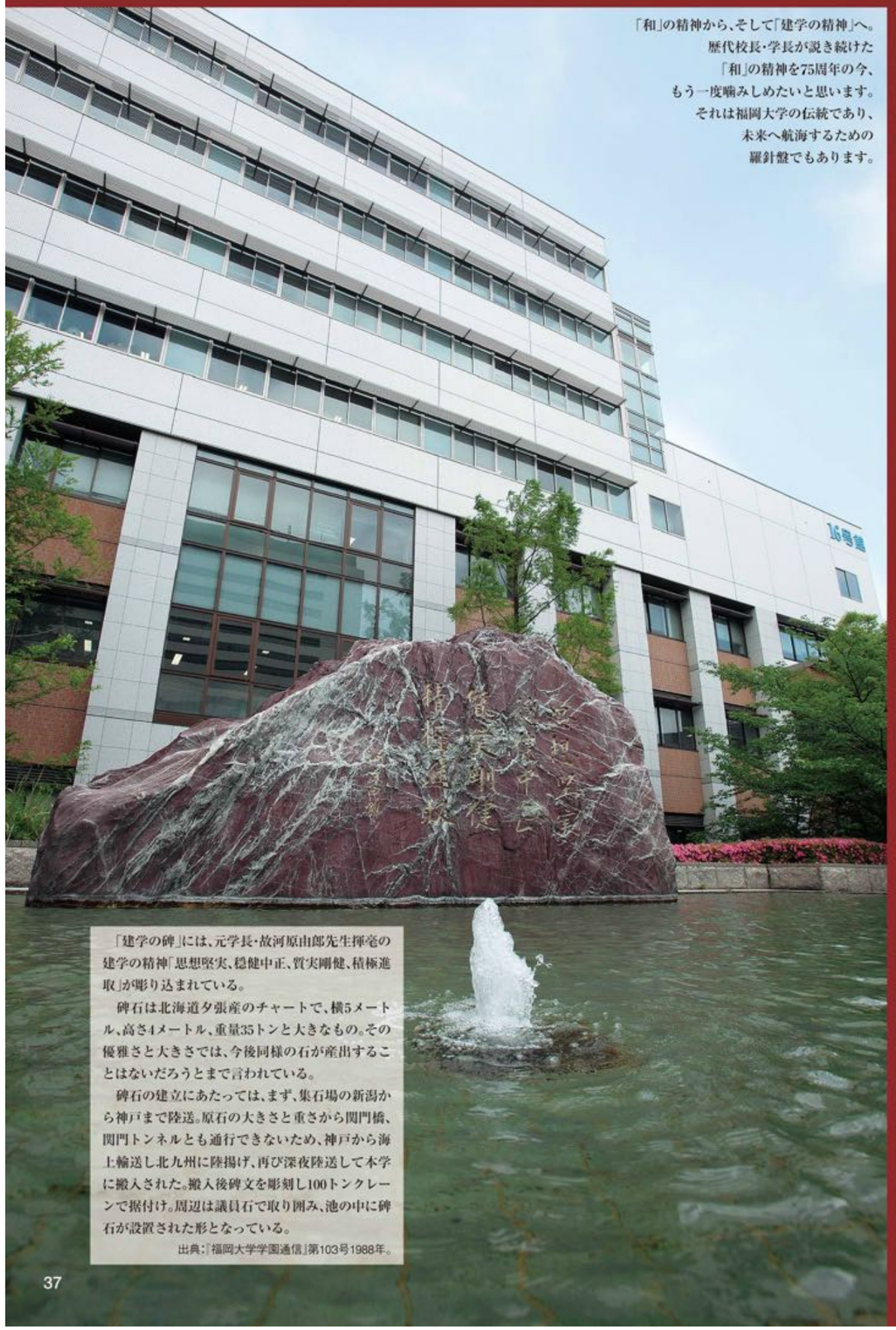


創立75周年を祝し「有信会」の寄付により
English Garden（バラ園）として新生。

今 2009

「和」の精神

「和」の精神から、そして「建学の精神」へ。
歴代校長・学長が説き続けた
「和」の精神を75周年の今、
もう一度噛みしめたいと思います。
それは福岡大学の伝統であり、
未来へ航海するための
羅針盤でもあります。

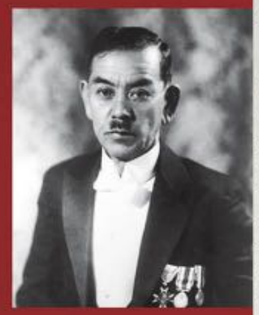


「建学の碑」には、元学長・故河原由郎先生揮毫の建学の精神「思想堅実、穏健中正、質実剛健、積極進取」が彫り込まれている。

碑石は北海道夕張産のチャートで、横5メートル、高さ4メートル、重量35トンと大きなもの。その優雅さと大きさでは、今後同様の石が産出することはないだろうとまで言われている。

碑石の建立にあたっては、まず、集石場の新潟から神戸まで陸送。原石の大きさと重さから関門橋、関門トンネルとも通行できないため、神戸から海上輸送し北九州に陸揚げ、再び深夜陸送して本学に搬入された。搬入後碑文を彫刻し100トンクレーンで据付け。周辺は議員石で取り囲み、池の中に碑石が設置された形となっている。

出典:「福岡大学学園通信」第103号1988年。

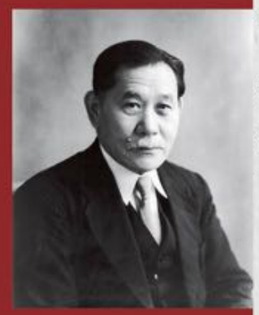


福岡高等商業学校初代校長 古川 邦彦

惟ふに、和の精神は一心同體、萬物一如の上に成り立ってゐる。自己を深刻に省察するとき、自己の生命が所属團體全般に関連し、而も亦それが現在に止まらず、過去に遡り、将来に亘りつゝあることを見出さゞるを得ない。即ち全は分を俟ちて全であり、分は全によりてのみ分なのであることが覚られる。約言すれば、全即分、分即全である。かくて、我々は人を責むる前に先づ自己を訓練し、自己の短所を知り他の長所を認め、自己の身を以て他に奉仕するの念に燃えてくる。

自己の尊さを知ると共に他の尊さをも認めざるを得なくなる。かくて互の魂が溶け合ひ、人と人との眞の交はりが實現されてくる。かくて、各自が夫々の與へられたる地位に於て夫々の職分を楽しく忠實につとめることになる。各自が即ちその分を盡すこと、なる。其處に自己執着に基づく醜悪なる對立は解消し、美しき和を現し、全體の力強き創造が行はれてくる。

（1938年3月10日「福岡高商新聞」第17号より抜粋）



福岡商科大学初代学長　花田 大五郎

人類全體が幸福になるのでなければ、社會生活の圓滿なる發達は望まれない。その基調には「和」の精神があつて、相協同し、相協力し、相互扶助して、相互に利益しつゝ、全體を利益し、全人類を發達進歩せしむるものでなくてはならないと思はれる。而して斯の如き「和」の經濟學は、戰爭を放棄し、平和裡に人類の進歩に寄與し、福祉を增進することを目標とする我國の學者によつて提唱さるべきではあるまいか。

（1949年2月20日「福岡經專論叢」1より抜粋）



福岡大学初代学長（後に総長） 今村 有

波荒い混沌たる社会の指導者とならんとする強い自主の精神、不抜の意志力のそなわつている人こそ重要な人格の完成の要素である。しかしそういう風にいうと頑固な人を要求しているようであるが、そうではない。協和の精神、或いは公明の精神が社会に立つていく上に重要な人格の要素である。健全な精神は健全な体軀に宿る、ということを考えれば、身体の鍛錬は大学時代において心がけなければならないことだと思います。 —中略—

四年後、この大学を出るとき、学生々活について何ら悔を残すところなく、勇躍して総ての諸君が校門を辞されんことを希望する。

（1958年5月12日「福岡大学新聞」第71号より抜粋）



福岡大学第二代学長 河原 由郎

裏表紙のページに掲載したメッセージは、福岡大学第二代学長 河原由郎先生の1976年度入学式式辞から抜粋したものです。先生は1978年に学長在任中に逝去され、福岡大学葬が執り行われました。

写真の碑は、創立50周年記念事業の一環として1987年に文系センター棟前庭に設置された「建学の碑」です。

75th ANNIVERSARY

思想堅実・穏健中正・質実剛健・積極進取

絆、新たに。
75th
Fukuoka University 2009

33年前の入学式。学長が語った「建学の精神」の意味を今、君に伝えたい。



わが福岡大学は創立以来四十周年を超え、「思想堅実」・「穏健中正」・「質実剛健」・「積極進取」を建学の精神とし、時に政治・経済・思想の大巾な制約をうけながらも、その都度、生々として作用し教学の基本を不動なものにしました。この意味において建学の精神は過去化したものでなく生成発展して今にいたっております。今日の記念すべき入学式において、私は「建学の精神」を、語源を尋ね発展的意気をふまえて、その意味を明らかにしたいと思います。

思想堅実について申しますに、まず思想とは、現代心理学では「経験と思考とによって生ずる心の現象」と解し、英語の「Thought」の訳として把握しておりますが、東洋では「考え方」・「思いやり」・「思いめぐらす」ことを同一義に解しており、有名な王胡の文休に与える書に「消息を風声に聞き、旧情を思想に託す」とあるのはこの類であります。堅実は爾雅や管子の註に堅固にしてすぐれていることとしている。よって思想堅実は「**思いやりや、考え方がすぐれて固いこと**」を意味していると解して宜しいかと思います。

穏健中正について申しますに、まず穏健は説文に「穏は一に曰く安なり、とありまして、穏健は安隠に通ずる」としており中正については、中庸に「中は天下の大本なり」とあり、管子に「人君たるものは中正にして私なし」と言っており、穏健中正とは「**温和にして詭激な思想や過激な活動にくみしないで中庸を守ること**」と解して宜しいかと思います。

質実剛健について申しますに、まず質実は史記の孔子世家に「君子あやまちあらば、則ち謝するに質を以てす」とあり、また同じく孔子世家に「君もしこれを悼まば、則ち謝するに質を以てす」とありまして、質実は「まごころ」・「まこと」を意味しています。剛健は易経の乾卦(かんくわ)に「大いなるかな乾、剛健中正」とありまして、「中道を守って屈しない」ことを意味しています。よって「質実剛健」とは「**まごころをもって責任を果し、心身を健かにし中道を堅持して屈しないこと**」と解して宜しいかと思います。

積極進取について申しますに、積極は消極に対する言葉でありまして、進取は易経・乾卦に「徳を進めて、業を修む」とありまして、「善いことを進んでやること」を意味しています。よって「積極進取」とは「**消極退嬰に流れないで、善行を自ら進んでやること**」と解して宜しいかと思います。

以上、述べましたところによって、福岡大学の建学の精神は、政治・社会の変動・変遷にかかわらず常に一貫して存在意義をたかめて現在にいたっておると言えます。この歴史事実を通しましても、建学の精神は「学問研究の自由と教育の中立性とを高らかにうち出しておりますとともに、これを阻まんとする如何なる勢力をも拒み、教育の志向を人間完成においている」と言えましょう。建学の精神としてかかげている「思想堅実」「穏健中正」「質実剛健」「積極進取」のそれぞれは個々的に、また一体となって総合的に、終始、大学教学の基本理念となっております。

福岡大学 第二代学長　河原 由郎

出典:『福岡大学学園通信』第55号1976年。